

# 認知症対策専門委員会

(令和4年度)

## 認知症対策専門委員会活動報告書

広島県地域保健対策協議会 認知症対策専門委員会

委員長 石井 伸弥

### I. はじめに

令和元年にとりまとめられた「認知症施策推進大綱」および令和3年4月に策定された「第8期ひろしま高齢者プラン」に示された認知症施策における二つの軸である「共生」と「予防」に沿って、認知症施策の状況把握や効果検証、課題抽出等に資する調査・研究、モデル事業等を実施する事を目的として本委員会は令和3年度に設立された。設立された昨年度は以下の取組を行った。

- ・「学習ニーズの調査や学習・研修プログラムの開発」：介護支援専門員を対象として学習ニーズの調査および自己評価尺度「認知症高齢者に対するケアマネジメント実践自己評価尺度」の開発を行った。
- ・「山間部・離島における認知症地域医療の調査」：山間部・離島における認知症地域医療の実態について、認知症医療介護従事者および行政担当者を対象にインタビュー調査を行い、さらにかかりつけ医、地域包括支援センターを対象としたアンケート調査を実施した。
- ・「コロナ流行下での認知症者権利保護のための検討会」：広島県認知症疾患医療センターと合同で研修会を開催し、コロナ禍における医療体制や人権侵害、人権擁護の取組についての講義があった。

今年度は、昨年度に引き続き、介護支援専門員を対象とした研修プログラム開発、山間部・離島における認知症地域医療に資する取組を実施した。

さらに、今年度は広島県における若年性認知症の実態調査に取り組んだ。

以下これらの取組の成果を報告する。

### II. 若年性認知症の人の医療や暮らしにおけるニーズに関する研究の実施

令和元年厚生労働省は認知症施策推進大綱をとりまとめ、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会を目指し、共生と予防を車の両輪とした施策を推進している。このような社会をつくっていくうえで、若年性認知症の方やそのご家族が、医療や暮らしにおいてどのような思いやニーズをもっているのかを把握するために、今年1月からアンケート調査を実施した。(資料1・2・3)

調査では、若年性認知症の方の医療へのつながりやすさ、就労や社会参加など暮らしの状況、ご家族の介護状況や社会資源の利用状況などの実態を調査した。現在集計中であるが、調査の結果は、若年性認知症の人が適切な時期に医療につながり、その方らしい暮らしを送るための環境づくりを検討するための重要な基礎資料となる。

### III. 山間部や離島における認知症地域支援システムの確立を目指した調査(かかりつけ医、地域包括支援センター対象調査)

昨年度は、山間部・離島における認知症地域医療の調査をかかりつけ医および地域包括支援センターに対して実施した。今年度は、都市部のかかりつけ医や地域包括支援センターに対して同様の調査を行い、昨年度実施した山間部・離島における調査結果と比較することで、それぞれの地域の課題を明らかにした。調査対象の都市部かかりつけ医651名、地域包括支援センター74カ所に郵送で自記式質問紙を送付した。調査期間は、2022年12月から2023年1月であった。

【都市部かかりつけ医・アンケート調査結果】(資料4-1)

かかりつけ医を対象とした調査では、246名の医

師から返信が得られ、回答率は37.8%であった。所属先は、64.2%が無床診療所、28.5%が病院であった。専門科は、一般内科(49.6%)、精神科(22.4%)の順で多かった。認知症サポート医が40.7%、認知症専門医が6.9%、認知症診察医が6.5%、認知症臨床専門医が1.2%、認知症予防専門医が2.8%、オレンジドクターが50.0%であった。日常診療を行っている認知症の人数は、1-10人が一番多く39%であった。認知症患者に対する行動・心理症状に対する外来診療や軽度認知障害患者に対する定期的なフォローアップは自施設で行っている医師が多かった。一方、行動・心理症状に対する入院診療および救急対応や若年性認知症に関する精査は、専門医療機関に紹介すると答えた医師が多かった。専門医療機関との連携に困難を感じている医師は27.6%おり、専門医療機関を受診するまでに時間がかかったと答えた医師が67.6%であった。認知症診療において、対応が困難となった事例では、独居・認知症者夫婦、コントロール困難な行動・心理症状(徘徊を除く)、受診拒否などがあつた。

【都市部と中山間地・離島部におけるかかりつけ医対象調査結果の比較】(資料4-2)

専門科では、都市部に精神科、脳神経内科・脳神経外科が多く、中山間地には一般内科が多かった。都市部の方が、認知症関連の資格を有する医師が多い傾向にあつた。認知症診療における連携先専門医療機関について、都市部は認知症疾患医療センターが多く、中山間地は総合病院が多い傾向にあつた。専門医療機関との連携に困難を感じたことがあると回答した割合は、中山間地の方が多かった。困難を感じた点では、「専門医療機関を受診するまでに時間がかかった」という項目は双方に多かったが、中山間地では「十分に診察してもらえず終診になる」、「情報提供が不十分で、専門医療機関での診療状況がわからなかった」、「紹介した患者を戻してもらえなかった」などが多かった。認知症診療において、対応が困難となった事例では、中山間地の方がせん妄、拒薬・怠薬、コントロール困難な行動・心理症状(徘徊を除く)、徘徊、独居・認知症者夫婦、受診拒否、運転免許返納が多かった。

【都市部地域包括支援センター・アンケート調査結果】(資料4-3)

地域包括支援センターを対象とした調査では50箇所のセンターから回答が得られ、回答率は67.6%で

あつた。センター職員が、認知症ケア専門士の資格を有する割合は14%であつた。認知症発見の契機としては、家族からの相談、民生委員や見守りボランティアからの相談、地域住民からの相談が90%以上を越えていた。認知機能の低下が疑われる人や認知症の人の世帯の福祉課題として、近隣トラブル、必要な医療を受けていない(94%)、必要な介護・生活支援を受けていない(92%)、ゴミ屋敷(90%)などがあつた。

また、認知症の初期集中支援チームの活動状況について、認知症初期集中支援チームによって多くの症例の初期対応が実施されていると答えた割合は56%であつた。認知症初期集中チームに支援をつないだ経験は49件(98%)あり、認知症疾患の診断を受けていないケース(91.8%)が多かった。

【都市部と中山間地・離島部における地域包括支援センター対象調査結果の比較】(資料4-4)

認知機能低下が疑われる人の受診勧奨や、認知症診断後の定期受診継続について困難を感じることは、①診断のための受診に関する課題として、中山間地の方が公共交通機関までの距離が遠い、通院同伴者がいないなどの課題が多かった。②診断後の定期受診継続に関する課題では、中山間地の方が、通院同伴者がいない、本人や家族が認知機能の低下や医療が必要となる可能性に気づいていないという回答が多かった。

認知症初期集中支援チームによる初期対応件数は、都市部の方が2倍多かった。認知症初期集中支援チームに支援をつないだ経験は都市部の方が多く、つないだ経験がないセンターは中山間地に多かった。認知症初期集中支援チームに支援をつないだケースでは、中山間地の方が認知症の支援を受けていないケースや継続的な医療サービスを受けていないケースが多かった。

一方、地域で認知症治療に当たっている医療機関との連携に困難を感じた割合が多いのは都市部で、中山間地の2倍であつた。困難を感じた点は、都市部では対応してもらえるまで時間が長くかかった、医療機関側に介護に対する理解が不十分だったという項目が多く、中山間地では十分に対応してもらえず終診となったという項目が多かった。認知症や認知症の人との関わりに関する地域住民の認識については、中山間地の方が「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らし

てきた地域で生活する」が多く、都市部の方が「認知症になると、身の回りのことができなくなり、周りの人に迷惑をかけてしまうのでなるべく早めに介護施設に入ってサポートを利用する」が多かった。

家族の介護負担の軽減への取り組みは、中山間地では都市部より認知症カフェの開催が多かったが、都市部では本人グループや家族の会などの紹介が積極に行われているという地域差があった。

#### Ⅳ. 山間部や離島における認知症地域支援システムの確立を目指した調査

##### 【民生委員対象インタビュー調査】

昨年度の調査によって、中山間地・離島において認知症の早期発見や地域との結びつきに民生委員がかかわっているケースが多いことが明らかとなった。そのため、民生委員が果たしている役割を明らかにするため、都市部、中山間地・離島部の民生委員を対象としてインタビュー調査を実施した。

調査方法は、対面式半構造化面接とし、調査対象は都市部12名、中山間地・離島部8名の民生委員を対象とした。調査期間は、2022年9月から2023年2月までで、現在データを解析中である。

##### 【民生委員対象調査票調査「認知症の人にやさしい地域づくりに関するアンケート」】

民生委員が果たしている役割を明らかにするため都市部と、中山間地・離島部の民生委員を対象として調査票調査を実施した。調査方法は、自記式質問紙を都市部1582名、中山間地・離島部969名の民生委員に対して郵送した。調査期間は、2022年4月から7月までであった。

##### 【調査票調査の結果】(資料5-1・2・3)

都市部では1205名の民生委員から回答が得られた(回答率76.2%)。一方、中山間地・離島部では719名の民生委員から回答が得られた(回答率74.2%)。回答結果に関して、都市部と中山間地・離島部を比較した結果、都市部より中山間地・離島部の方が民生委員の高齢化が進んでいた。民生委員として担当している件数は、中山間地・離島部は1-100世帯が一番多かったが、都市部では201-300世帯が一番多かった。認知機能が低下している人や認知症の人がいる世帯において、①本人からの相談が一番多かったのは生活のこと(いずれも約4割)で、次に病気のこと、介護保険利用のこと、運転免許返納のことであった。運転免許返納に関しては、中山間地・離

島部が都市部の3倍以上であった。②家族や地域住民からの相談では、診断はついていないが認知症が疑われること、認知症の人と周囲の関係、認知症の人の介護のことが多かった。いずれも都市部より中山間地・離島部の方が多かった。民生委員として行う支援では、見守り・安否確認(93%)が一番多く、次いで話し相手(約73%)、認知症の人や家族と関係機関(市や包括支援センター)の連絡の手助けが(約54%)と双方共に多かった。

双方を比較して、都市部では地域交流活動の支援、認知症の人や家族と関係機関(市や包括支援センター)の連絡の手助け、交流会や食事会の支援が多かった。一方、中山間地・離島部では、話し相手、食材配達・配食の手伝い、服薬確認、外出支援、通院の付き添いなど日常生活支援が多く、それ以外に緊急通報システム等への協力、介護保険や日常生活自立支援事業などの情報提供、災害時支援など多かった。

認知機能の低下が疑われる人や認知症の人の世帯の福祉課題では、双方とも家族が遠方、孤独・孤立、近隣トラブル、徘徊が多かった。都市部の方で多かったのは、徘徊や近隣トラブルであった。中山間地・離島部の方で多かったのは、家族が遠方、外出困難、経済的困窮、孤独・孤立であった。

認知症の人のみの世帯で、日常生活維持の困難なケースに携わったことがある民生委員も、都市部より中山間地・離島部の方がわずかに多かった。その対応に関しては、地域包括支援センター・行政に情報提供した、親族に連絡した、頻回に見守りを行った、本人に了承を得たうえで、近隣住民に見守りや生活支援を依頼した、介護施設入所を進めたなどがあった。

地域住民が認知症を発症した場合、どのように過ごすのが適切と考えるかという質問には、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する」の項目では都市部の割合が高く、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、生活が困難になったり安全が確保できなくなったり、周囲に迷惑をかけるので、なるべく早く介護施設に入る」という項目は中山間地・離島部の方が多かった。

地域は認知症の人にとってどのような地域だと思ふかの回答では、都市部では「徒歩圏内に徒歩が困難な方や目の不自由な方でも利用できる公共交通機

関、地域乗り合いタクシーを利用できる場所がある。通りや建物は安全でわかりやすさに配慮してある、住まいの近くに日々の生活や医療・介護などに関わるサービスや施設がある」など環境が整っている回答が示された。一方、中山間地・離島部では、「地域では認知症の人が地域の人々から大切にされ、地域の一員である」、「地域には、悩みがあるときやストレスを感じた時に、誰かに相談したり助けを求めたりすることを恥ずかしいと感じる雰囲気がある」という回答が多く、助けることが恥ずかしいと感じる思いをくみ取り、地域の人々が温かく見守っているアットホームな環境があることが示された。

#### V. 令和4年度認知症対応の質の向上を目指した介護支援専門員向け学習・研修プログラムの開発

介護支援専門員の利用者の多くは認知症の人であり、介護支援専門員の認知症ケアマネジメントの質の向上を目指した研修プログラムを開発することを目的として、研修会をオンラインで開催（2023年2

月2日、参加者37名）し、研修直前、研修直後、研修3ヵ月後でその効果を比較した。

#### 【アンケート調査の結果】（資料6）

研修会に参加した介護支援専門員は、経験年数が10年以上の人が73%であった。研修内容は医師による講義「認知症の症状を理解する」30分、認知症認定看護師による講義「生活習慣病・慢性疾患を持つ認知症の人への医療・生活支援について」30分であった。研修内容に関しては、96%の参加者から講義の内容や研究プログラムについて「とてもよかった・よかった」という感想であった。介入前後の効果として、第1因子：認知症のケア手法のパーソンセンタードケア（6項目）、第2因子：疾患特性、治療やケアへの理解（4項目）、第3因子：認知症の人への理解と特性に応じたケアマネジメント（5項目）、第4因子：認知症の人を取り巻く地域資源の活用（3項目）に関して前後比較をしたが、いずれの得点も介入後は増加していた。介入3ヵ月後の効果は現在解析中である。

## 健康や暮らしなどに関するアンケート(ご本人用)

## 1. あなたご自身について

数値をお答え頂く、またはあてはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。

性別	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 答えたくない
年齢	歳			

## 2. あなたの就労や地域の活動の状況について

1) 現在、就労されていますか？あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 収入を伴う仕事をしている	2. 収入を伴わない仕事をしている
3. 就労していない	

(1) 1)で1または2を選ばれた方:あなたにとって就労はどのような意味合いがありますか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 社会に役立つこと	2. 喜び・楽しみ	3. 収入による家族の暮らしの支え
4. その他( )		

(2) 1)で3「就労していない」を選ばれた方:今の就労に対するお気持ちはどのようなものでしょうか？あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 就労したいので、就労先を探している	2. 就労したいが、まだ就労先を探してはいない
3. 就労したいと思わない	4. その他( )

2) 就労以外で、お住いの地域の活動や集いの場に参加していますか？あてはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 参加している	2. 参加していないが、これから参加してみたい
3. 参加しておらず、今のところ参加してみたいと思わない	

(1) 2)で1「参加している」を選ばれた方:どのような活動や集いの場に参加していますか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 趣味活動	2. ボランティア	3. 認知症カフェ
4. 認知症をもつ本人同士の集い	5. 認知症に関する講演活動	
6. その他( )		

(2) 2)で2「参加していないが、これから参加してみたい」を選ばれた方:どのような活動や集いの場に参加してみたいですか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(3) 地域の活動や集いに「参加している」「参加していないが、これから参加してみたい」と回答された方:活動や集いの場に参加することは、あなたにとってどのような意味をもちますか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 趣味活動	2. ボランティア	3. 認知症カフェ
4. 認知症をもつ本人同士の集い	5. 認知症に関する講演活動	
6. その他( )		

1. 自分らしい生活を送りたい
2. 認知症の人の経験や役立つ情報を知りたい
3. 認知症の人に対し、自分のこれまでの経験や役に立った情報を伝えたい
4. 認知症の人と関わり、自分がその人の励みになりたい
5. 地域や社会に対し、認知症について伝えたい
6. 地域と何らかの形で関わりたい
7. 地域に対して何らかの形で役に立ちたい
8. その他( )

(4) 地域の活動や集いに「参加しておらず、今のところ参加してみたいと思わない」と回答された方:活動や集いに対する、あなたのお気持ちはどのようなものでしょうか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分が認知症であることを家族以外に知られたくない
2. 家族が、参加を望まない
3. 行きたい思える場所がない
4. 住んでいる地域にそのような場がない
5. その他( )

3) お住いの地域にあればよいと思う集いにはどのようなものがありますか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 就労支援が受けられる場	2. 趣味活動を楽しめる場
3. ボランティア活動	4. 認知症をもつ本人同士の集い
5. その他( )	

4) お住いの地域、病院・診療所、介護保険サービス事業所、行政などに対して、「このようなサービス・支援がほしい」「このような情報を共有してほしい」などご意見があれば自由にお書きください。

**3. あなたの健康状態や毎日の生活について**

- ・ 答えには、正解や間違いがあるわけではありません。最近一週間であなたが感じたことに、最もよく当てはまるものをお答えください。
- ・ 質問の中に自分には当てはまらないと思うものがあっても、心配しないでください。皆さんに同じ質問をしています。

1) まず、あなたのご気分についてお聞きます。最近 1 週間、(以下の各質問;(1)～(13)番にあるような気分)と、どのくらい感じましたか？最も当てはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。

(1) 気分がほがらかだ	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(2) 心配だ、不安だ	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(3) 人生を楽しんでいる	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(4) うまいかず、もどかしい感じがする	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(5) 自信がある	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(6) 元気いっぱいだ	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(7) 悲しい	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(8) さびしい	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(9) つらい	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(10) 生き生きしている	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(11) いらいらしやすい	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(12) うんざりする	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(13) やりたいことがあるのにできない	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない

2) 次は、記憶力についてお聞きます。最近1週間、(以下の各質問;(14)～(19)番)について、どのくら

い心配になったり、気になったりしましたか？最も当てはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。

(14) 最近の出来事を忘れてしまうこと	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(15) 人について、その人が誰だかわからなくなること	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(16) 日付について、その日が何の日かわからなくなること	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(17) 考えがまとまらずに混乱してしまうこと	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(18) なかなか決断できないこと	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(19) 集中できないこと	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない

3)次に、あなたの毎日の生活についてお聞きします。最近1週間、(以下の各質問;(20)～(28)番)について、どのくらい心配になったり、気になったりしましたか？最も当てはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。

(20) 人との交流があまりないこと	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(21) 親しい人とどううまく付き合ったらよいか	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(22) 周りから十分に心優しくされているかどうか	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(23) 人が自分の話を聞いてくれないこと	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(24) 自分のことを理解してもらえているかどうか	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(25) 必要な時に助けてもらえているかどうか	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(26) トイレに間に合うかどうか	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(27) 自分の調子全般	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない
(28) 自分の健康全般	1. とても	2. わりと	3. 少し	4. 全くない

4)ここまで、あなたのご気分や記憶力、毎日の生活について、たくさんのお聞きしました。では、最近1週間を振り返ってみると、(質問29)について、どう思いますか？最も当てはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。

(29) あなたの生活の質全般	1. とてもよい	2. よい	3. 普通	4. よくない
-----------------	----------	-------	-------	---------

以上でアンケートはおわりです。ご回答頂き、誠にありがとうございました。

## あなた・ご家族の健康や暮らしに関するアンケート(ご家族用)

### 1. あなたご自身について

1) 性別・年齢・ご本人との続柄をお教えてください。数値をお答え頂く、またはあてはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。

性別	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 答えたくない
年齢	歳			
続柄	1. 配偶者・パートナー	2. 子	3. 子の配偶者・パートナー	
	4. 孫	5. 親	6. その他( )	

2) 認知症をおもちのご本人(以下、当事者とします)の介護以外の、あなたの生活上の役割について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家事	2. 仕事	3. 子育て
4. 当事者以外の方の介護	5. その他( )	

3) 介護を助けてくれる人は、他にいますか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親	2. 配偶者・パートナー	3. 子	4. その他の親族
5. 友人	6. その他( )		6. 介護を助けてくれる人はいない

### 2. 当事者について

1) 現在の就労(収入を伴う仕事)について、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

(1) 現在、就労されていますか？

1. 就労している(休職中含む)	2. 就労していない
------------------	------------

(1)-1 「就労している」と回答された方: 今の就労状況についてお答えください。

1. 診断前と同じ職場、配置先(部署・部門等)で働いている
2. 診断前と同じ職場だが、配置先(部署・部門等)や就労時間は変わった
3. 一旦退職後、別の職場で再就職した
4. 休職中である

(1)-2 「就労している」と回答された方: 今の雇用は、障害者雇用枠ですか？

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

(2) 当事者の就労状況によって、今の世帯の経済状況は変わりましたか？

1. 変わらない	2. 悪くなった	3. 良くなった	4. わからない
----------	----------	----------	----------

2) 当事者の受診状況や診断名について、お答えください。選択肢がある質問については、あてはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。

(1) 症状に気が付いたときのご本人の年齢は、何歳頃ですか？

歳頃
----

(2) 最初に症状に気が付いた人はどなたですか？

1. 本人	2. 配偶者	3. 子	4. 親	5. その他の親族
6. 知人・友人	7. 職場の同僚・上司	8. かかりつけ医	9. その他	

(3) 最初に気が付いた症状はどのようなものでしたか？

1. もの忘れが多くなった	2. 言葉がうまく出なくなった	3. 怒りっぽくなった
4. 何事にもやる気がなくなった	5. 職場や家事などでミスが多くなった	
6. その他( )		

(4) 最初に受診した医療機関はどちらでしたか？

1. 認知症疾患医療センター	2. 病院のもの忘れ外来(認知症外来)	
3. もの忘れクリニック・メモリークリニック	4. かかりつけ医	
5. 心療内科	6. 脳神経内科・外科	7. その他( )

(5) 症状に気が付いてから、最初に医療機関を受診するまでの期間はどのくらいでしたか？

およそ	年	ヶ月
-----	---	----

(6) 診断された病名について、お答えください。

1. アルツハイマー型認知症	2. レビー小体型認知症	3. 前頭側頭型認知症
4. 血管性認知症	5. 外傷による認知症	6. その他

(7) 症状に気が付いてから、若年性認知症と診断されるまでの期間はどのくらいでしたか？

およそ	年	ヶ月
-----	---	----

3) 当事者の認知症に伴う症状についてお教えてください。

- ・ 過去1ヶ月以内に、質問にある症状が、認められた場合には、「あり」に○をつけて下さい。病前(診断前)から認められるものが増悪せずに認められる場合(例えば、元々気が短く、過去1ヶ月以内にはひどくなっていない場合、診断前からある行動や生活に変化がない場合)、1ヶ月以上前にはあったが過去1ヶ月以内には認められなかった場合、全く認められなかった場合には、「なし」に○をつけてください。
- ・ 「あり」の場合には、当事者にとっての重症度と、介護者にとっての重症度を、下記の基準に従って評価し、○をつけてください。

a) 症状の重症度(当事者にどれほど影響しているか)  
 1=軽度:症状の存在は感じられるが、はっきりとした変化ではない  
 2=中等度:症状ははっきりと存在するが、劇的な変化ではない  
 3=重度:症状は非常に著明であり、劇的な変化を認める

b) この症状について介護者が感じている負担度(介護者にどれほど影響しているか)  
 0=全くなし  
 1=ごく軽度:ごく軽度負担には感じるが、処理(対応)するのに問題はない  
 2=軽度:それほど大きな負担ではなく、通常は大きな問題なく処理(対応)できる  
 3=中等度:かなり負担で、時に処理(対応)するのが難しい  
 4=重度:非常に負担で、処理(対応)するのが難しい  
 5=非常に重度あるいは極度:極度に負担で、処理(対応)できない

- 
- (1) 妄想 「当事者は事実でないとわかっていることを信じ込んでいますか。例えば当事者から金品を盗もうとしたり、誰かが当事者に危害を加えようとしていると言ったりしますか。」
- なし あり→重症度: 1 2 3 負担度: 0 1 2 3 4 5
- 
- (2) 幻覚 「当事者は幻覚や幻聴がありますか。実際にはないものが聞こえたり見えたりしている様に見えますか。」
- なし あり→重症度: 1 2 3 負担度: 0 1 2 3 4 5
- 
- (3) 興奮 「当事者は介助を拒んだり、扱いにくくなる時がありますか。」
- なし あり→重症度: 1 2 3 負担度: 0 1 2 3 4 5
- 
- (4) うつ 「当事者は、悲しそうであったり、落ち込んでいるように見えたり、そのように言ったりしますか。」
- なし あり→重症度: 1 2 3 負担度: 0 1 2 3 4 5
- 
- (5) 不安 「当事者は、あなたがいなくなると落ち着かなくなりますか。息苦しさやため息、リラックスできない、過度に緊張している等の、神経質さを示すことがありますか。」
- なし あり→重症度: 1 2 3 負担度: 0 1 2 3 4 5
-

- a) 症状の重症度(当事者にどれほど影響しているか)  
 1=軽度:症状の存在は感じられるが、はっきりとした変化ではない  
 2=中等度:症状ははっきりと存在するが、劇的な変化ではない  
 3=重度:症状は非常に著明であり、劇的な変化を認める
- b) この症状について介護者が感じている負担度(介護者にどれほど影響しているか)  
 0=全くなし  
 1=ごく軽度:ごく軽度負担には感じるが、処理(対応)するのに問題はない  
 2=軽度:それほど大きな負担ではなく、通常は大きな問題なく処理(対応)できる  
 3=中等度:かなり負担で、時に処理(対応)するのが難しい  
 4=重度:非常に負担で、処理(対応)するのが難しい  
 5=非常に重度あるいは極度:極度に負担で、処理(対応)できない

(6) 多幸 「当事者は、過度に機嫌がよかったり幸せそうであることはありますか。」

なし あり→重症度: 1 2 3 負担度: 0 1 2 3 4 5

(7) 無関心 「当事者は自身の日常活動や、他人の活動や計画に関心がなくなっているように見受けられますか。」

なし あり→重症度: 1 2 3 負担度: 0 1 2 3 4 5

(8) 脱抑制 「当事者は衝動的に行動する様に見えますか。たとえば、見ず知らずの人にあたかも知人であるように話しかけたり、他人の感情を傷つけるようなことを言ったりしますか。」

なし あり→重症度: 1 2 3 負担度: 0 1 2 3 4 5

(9) 易怒性 「当事者は気むずかしく、怒りっぽいですか。計画が遅れたり待たされたりすることが、がまんできなかつたりしますか。」

なし あり→重症度: 1 2 3 負担度: 0 1 2 3 4 5

(10) 異常行動 「当事者は家の周辺を歩いたり、ボタンをもてあそんだりひもを巻きとったりするなど、同じ行動を繰り返す事がありますか。」

なし あり→重症度: 1 2 3 負担度: 0 1 2 3 4 5

(11) 夜間行動 「当事者は夜中にあなたを起こしたり、朝非常に早く起きたり、過度に昼寝をすることがありますか。」

なし あり→重症度: 1 2 3 負担度: 0 1 2 3 4 5

(12) 食行動 「当事者は、体重が減ったり増えたり、食物の好みが変わったりしていませんか。」

なし あり→重症度: 1 2 3 負担度: 0 1 2 3 4 5



制度	現在利用している		過去利用していた	
	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
1. 傷病手当金	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
2. 精神障害者保険福祉手帳	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
3. 身体障害者手帳	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
4. 障害年金	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
5. 自立支援医療	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
6. その他( )	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

5) 当事者、あなたが介護保険サービス・総合事業以外の制度を現在利用されているか、過去に利用されていたかについて、あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 当事者の制度利用状況についてお答えください。

(2) あなたの制度利用状況についてお答えください。

制度	現在利用している		過去利用していた	
	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
1. 介護休暇制度	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
2. その他( )	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

6) 当事者の見守りや日常生活への支援など、介護が必要になってからの期間についてお答えください。

およそ	年	ヶ月
-----	---	----

7) 1日の介護時間について、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. ほとんど終日	2. 半日程度	3. 2～3時間程度
4. 必要なときに手をかす程度	5. その他( )	

8) 各質問について、あなたの気持ちに最も当てはまると思う番号を1つ選び、○をつけてください。

(1)当事者の行動に対し、困ってしまうと思うことがありますか	1. 思わない	2. たまに思う	3. 時々思う	4. よく思う	5. いつも思う
(2)当事者のそばにいと腹が立つことがありますか	1. 思わない	2. たまに思う	3. 時々思う	4. よく思う	5. いつも思う
(3)介護があるので、家族や友人と付き合いづらくなっていると思いますか	1. 思わない	2. たまに思う	3. 時々思う	4. よく思う	5. いつも思う
(4)当事者のそばにいと、気が休まらないと思いますか	1. 思わない	2. たまに思う	3. 時々思う	4. よく思う	5. いつも思う
(5)介護があるので、自分の社会参加の機会が減ったと思うことがありますか	1. 思わない	2. たまに思う	3. 時々思う	4. よく思う	5. いつも思う
(6)当事者が家族にいと、友達を自宅によびたくてもよべないと思ったことがありますか	1. 思わない	2. たまに思う	3. 時々思う	4. よく思う	5. いつも思う
(7)介護をだれかに任せてしまいたいと思うことがありますか	1. 思わない	2. たまに思う	3. 時々思う	4. よく思う	5. いつも思う
(8)当事者に対して、どうしていいかわからないと思うことがありますか	1. 思わない	2. たまに思う	3. 時々思う	4. よく思う	5. いつも思う

#### 4. お困りごとや悩みについて

1) 当事者について、困りごとや悩みがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 認知症の症状の進行に不安がある     | 2. 認知症以外の病気が悪化している |
| 3. 閉じこもっている・閉じこもり傾向にある | 4. 地域活動や集いに行きたくない  |
| 5. 当事者に適した介護保険サービスがない  | 6. 車の運転がやめられない     |
| 7. その他( )              |                    |
| 8. 当事者について困りごとや悩みは特にない |                    |

2) あなたご自身について、困りごとや悩みがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 自分のころや体の健康状態に不安を感じる              |
| 2. 介護のために、仕事を休む、仕事を変えるなど仕事への支障が出ている |
| 3. 介護のために、友人との交流や趣味活動の機会が減った        |
| 4. 介護のために、自分の進学を断念した                |
| 5. 介護について相談する人がいない                  |
| 6. 介護以外の困りごとについて相談する人がいない           |
| 7. 当事者の他に介護が必要な人がいる 例)親など           |
| 8. 当事者と家族の間でコミュニケーションがとりづらい         |
| 9. 経済状態を不安に思う                       |
| 10. 子供の進学、就職、結婚について不安に思う            |
| 11. その他( )                          |
| 12. あなたご自身について困りごとや悩みは特にない          |

3) お住いの地域について、困りごとや悩みがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 認知症や認知症の人との関わりについての理解が乏しい          |
| 2. 住んでいる地域には認知症の人が参加する活動や集いがない、または少ない |
| 3. 認知症のことについて近所、地域の人に知られたくない          |
| 4. その他( )                             |
| 5. 地域について困りごとや悩みは特にない                 |

4) 次のような若年性認知症等に関する支援、相談窓口をご存知ですか？また、利用・相談などしたこと

支援、相談窓口		知っている		利用・相談経験がある	
当事者やご家族への支援	1. 認知症カフェ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	2. オレンジアドバイザー（認知症介護に関する地域の身近な相談役）	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	3. 認知症の人と家族の会 広島県支部（陽だまりの会）本人・家族の会	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	4. 認知症地域支援推進員	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
相談窓口	5. 認知症疾患医療センター	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	6. 広島県若年性認知症サポートルーム	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	7. 電話相談：広島県認知症電話相談・広島市認知症コールセンター	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

はありますか？あてはまる選択肢に○をつけてください。

5) その他、利用された支援、相談窓口があれば、お教えてください。

--

6) 認知症に関連する情報や日々の暮らしに関連する情報について、どのようなものがあればよいと思われるですか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症について</li> <li>2. 認知症の治療について</li> <li>3. 専門医療機関・専門について</li> <li>4. 介護について</li> <li>5. 介護保険サービスについて</li> <li>6. 本人ミーティングや家族会について</li> <li>7. 就労に関する相談窓口について</li> <li>8. 経済的支援の相談窓口について</li> <li>9. 成年後見制度について（判断が難しい状態にある人を法律的に保護し、支援する制度）</li> <li>10. その他（<span style="float: right;">）</span></li> </ul>
--

7) お住いの地域、病院・診療所、介護保険サービス事業所、行政などに対して、「このようなサービス・支援がほしい」「このような情報を共有してほしい」などご意見があれば自由にお書きください。

--

以上でアンケートはおわりです。ご回答頂き、誠にありがとうございました。

## 若年性認知症の人に関するアンケート

## 1. 認知症をおもちのご本人(以下、当事者とします)について

1) 当事者の診断名について、お答えください。選択肢がある質問については、あてはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。

- |                |              |             |
|----------------|--------------|-------------|
| 1. アルツハイマー型認知症 | 2. レビー小体型認知症 | 3. 前頭側頭型認知症 |
| 4. 血管性認知症      | 5. 外傷による認知症  | 6. その他( )   |

2) 当事者が利用しているサービスについて、お聞きします。選択肢がある質問は、あてはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。

## (1) 当事者は介護保険サービス・総合事業を利用されていますか？

- |  |
|--|
| 1. 介護保険サービスを利用している                       |
| 2. 総合事業(介護予防・生活支援サービス事業/一般介護予防事業)を利用している |
| 3. いずれも利用していない                           |

(1)-1 「介護保険サービスを利用している」「総合事業を利用している」と回答された方: 当事者の現在の状態、利用されているサービス内容をお教えてください。

要介護度	0. 要介護認定なし	1. 要支援 1	2. 要支援 2
	3. 要介護 1	4. 要介護 2	5. 要介護 3
	6. 要介護 4	7. 要介護 5	
認知症高齢者の日常生活自立度	0. 自立	1. レベル I	2. レベル II a
	3. レベル II b	4. レベル III a	5. レベル III b
	6. レベル IV	7. レベル M	8. 分からない
障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)	1. ランク J-1	2. ランク J-2	3. ランク A-1
	4. ランク A-2	5. ランク B-1	6. ランク B-2
	7. ランク C-1	8. ランク C-2	9. 分からない
介護保険サービスの種類(利用中のものすべてに○をつけてください。ものすべてに○をつけてください)	1. デイサービス	2. デイケア	3. 訪問介護
	4. 訪問看護	5. ショートステイ	
	6. その他( )		
総合事業の種類(利用中のものすべてに○をつけてください。)	1. 訪問型サービス(理学療法士・作業療法士による助言・指導)		
	2. 訪問型サービス(言語聴覚士による助言・指導)		
	3. 訪問型サービス(管理栄養士による助言・指導)		
	4. 通所型サービス	5. ホームヘルプサービス	
	6. その他( )		

(1)-2 「いずれも利用していない」と回答された方:なぜ当事者は介護保険サービス・総合事業を利用しなかったのか、その理由をご存知であれば教えてください。

1. 利用したいサービスがない	2. 利用はまだ早いと考えている
3. サービス利用は経済的に難しい	
4. その他( )	
5. 利用しない理由は分からない	

(2) 当事者は障害福祉サービスを利用されていますか？

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2)-1 「はい」と回答された方:現在利用されている障害福祉サービスについて、あてはまる番号をすべて選び、番号に○をつけてください。

介護給付	1. 居宅介護	2. 重度訪問介護	3. 同行援護
	4. 行動援護	5. 重度障害者等包括支援	6. 短期入所
	7. 療養介護	8. 生活介護	9. 施設入所支援
自立支援 給付	1. 自立支援援助	2. 共同生活援助	
	3. 自立訓練(機能訓練)	4. 自立訓練(生活訓練)	
	5. 就労移行支援	6. 就労継続支援(A型)	
	7. 就労継続支援(B型)	8. 就労定着支援	

## 2. 若年性認知症の人への支援について

※以下は、若年性認知症の人への支援全般に関する質問です。

- 1例の当事者・家族をご紹介頂いている場合:このまま次の質問にお進み頂き、お答えください。
- 2例以上の当事者・家族をご紹介頂いている場合:今回の調査で、次の質問に回答されたことがなければ、お答えください。「他の当事者・家族に関して回答した際、次の質問にも回答した」という方は、空欄のままで結構です。

今回アンケートにご協力頂いた当事者や家族に限らず、若年性認知症の人を支援する際に配慮されていることがございましたら教えてください。また診断後、若年性認知症の人に対して必要だと感じるサービス内容について、お考えをお書きください。

以上でアンケートはおわりです。ご回答頂き、誠にありがとうございました。

## 認知症地域医療の現状に関する調査票（都市部かかりつけ医）集計結果

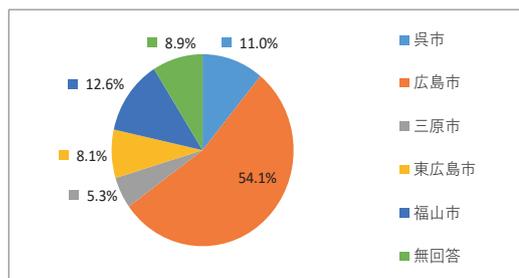
※「割合(%)」は小数点第二位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります

## ◆回収状況

回収件数	246
------	-----

## 問1 先生のご所属医療機関の地域について

	件数	割合(%)
呉市	27	11.0
広島市	133	54.1
三原市	13	5.3
東広島市	20	8.1
福山市	31	12.6
無回答	22	8.9
計	246	100.0



## 問2 先生のご所属・ご専門等についてお伺いします。

## 問2-1 ご所属（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 病院	70	28.5
2 無床診療所	158	64.2
3 有床診療所	13	5.3



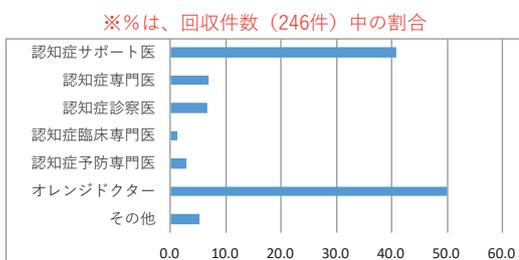
## 問2-2 ご専門（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 精神科	55	22.4
2 脳神経内科	21	8.5
3 脳神経外科	24	9.8
4 一般内科	122	49.6
5 老年内科	8	3.3
6 その他	28	11.4



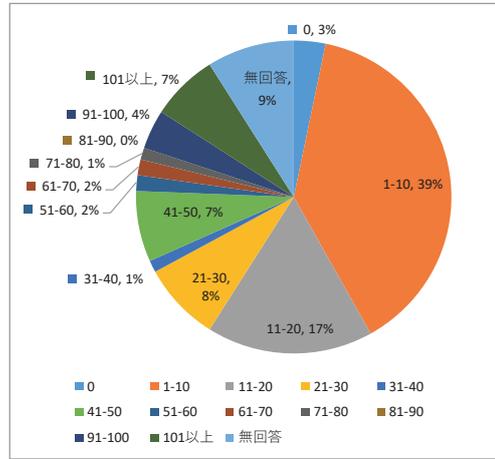
## 問2-3 お持ちの認知症関連の資格（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 認知症サポート医	100	40.7
2 認知症専門医	17	6.9
3 認知症診察医	16	6.5
4 認知症臨床専門医	3	1.2
5 認知症予防専門医	7	2.8
6 オレンジドクター	123	50.0
7 その他	13	5.3



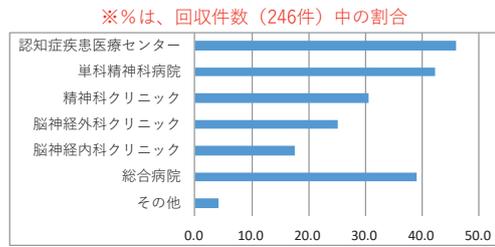
問3 先生が日常診療を行っている認知症の人の人数（認知症者の診察：おおよそ〇名/月）

	件数	割合(%)
1 0	8	3.3
2 1-10	95	38.6
3 11-20	42	17.1
4 21-30	20	8.1
5 31-40	3	1.2
6 41-50	18	7.3
7 51-60	4	1.6
8 61-70	4	1.6
9 71-80	3	1.2
10 81-90	0	0.0
11 91-100	10	4.1
12 101以上	17	6.9
13 無回答	22	8.9
計	246	100.0



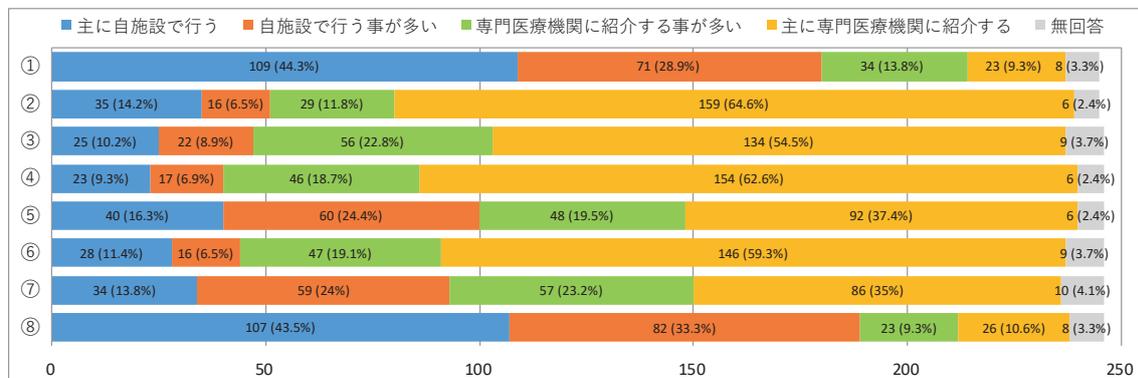
問4 認知症診療における連携先専門医療機関について、当てはまるものをすべて選んでください。（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 認知症疾患医療センター	113	45.9
2 単科精神科病院	104	42.3
3 精神科クリニック	75	30.5
4 脳神経外科クリニック	62	25.2
5 脳神経内科クリニック	43	17.5
6 総合病院	96	39.0
7 その他	10	4.1



問5 認知症患者に対する以下の診療行為について、問3の連携先専門医療機関との役割分担はどのようにおこなわれていますか。

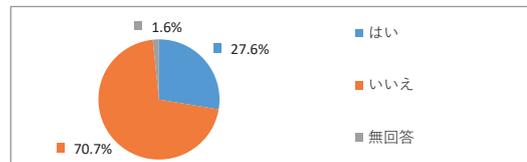
	1	2	3	4	0
	主に自施設で行う	自施設で行う事が多い	専門医療機関に紹介する事が多い	主に専門医療機関に紹介する	無回答
① 行動・心理症状に対する外来診療	109	71	34	23	8
② 行動・心理症状に対する入院診療	35	16	29	159	6
③ 行動・心理症状に対する救急対応	25	22	56	134	9
④ てんかんや正常圧水頭症等治療可能な認知症が疑われた場合の精査	23	17	46	154	6
⑤ てんかんや正常圧水頭症等治療可能な認知症への継続医療の提供	40	60	48	92	6
⑥ 若年性認知症に関する精査	28	16	47	146	9
⑦ 若年性認知症患者に対する継続医療の提供	34	59	57	86	10
⑧ 軽度認知障害（MCI）患者に対する定期的なフォローアップ	107	82	23	26	8



※( )は回収件数（246件）中の割合(%)

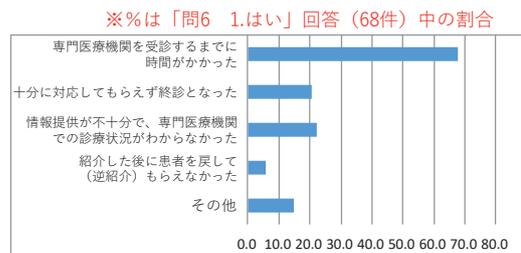
問6 専門医療機関との連携に困難を感じたことはありますか。

		件数	割合(%)
1	はい	68	27.6
2	いいえ	174	70.7
0	無回答	4	1.6
	計	246	100.0



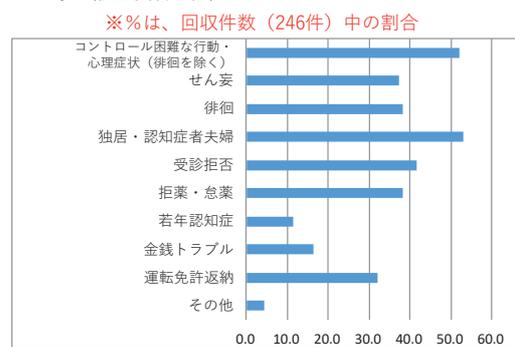
問6-1 「1.はい」と答えた先生にお尋ねします。どのような点に困難を感じましたか。(複数回答可能)

		件数	割合(%)
1	専門医療機関を受診するまでに時間がかかった	46	67.6
2	十分に対応してもらえず終診となった	14	20.6
3	情報提供が不十分で、専門医療機関での診療状況がわからなかった	15	22.1
4	紹介した後に患者を戻して(逆紹介)もらえなかった	4	5.9
5	その他	10	14.7



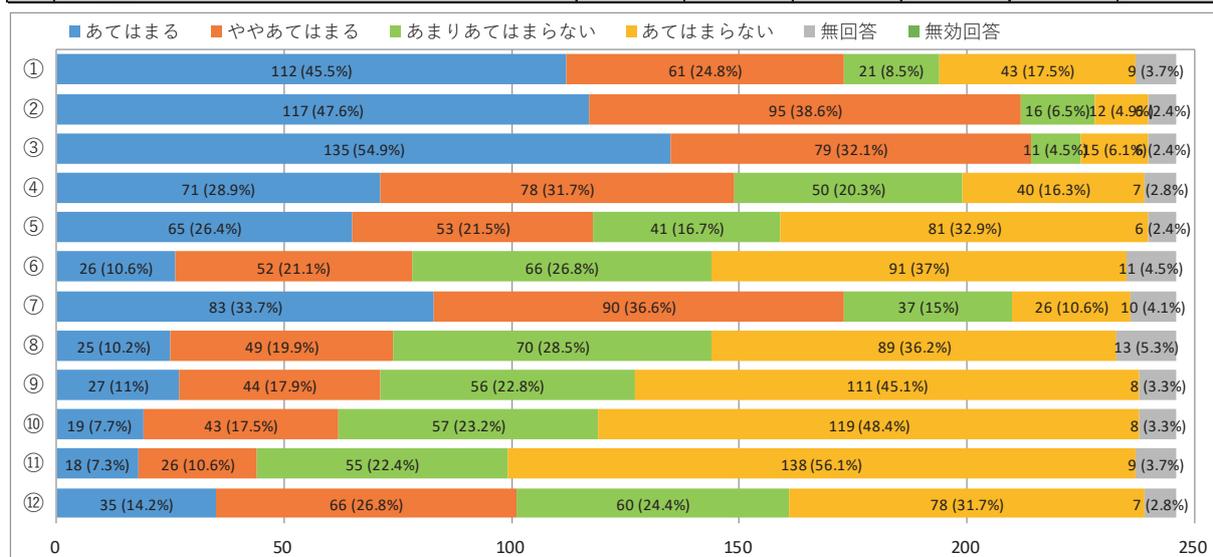
問7 認知症診療において、対応が困難となった事例にはどのようなものがありますか。(複数回答可能)

		件数	割合(%)
1	コントロール困難な行動・心理症状(徘徊を除く)	128	52.0
2	せん妄	92	37.4
3	徘徊	94	38.2
4	独居・認知症者夫婦	130	52.8
5	受診拒否	102	41.5
6	拒薬・怠薬	94	38.2
7	若年認知症	28	11.4
8	金銭トラブル	40	16.3
9	運転免許返納	79	32.1
10	その他	11	4.5



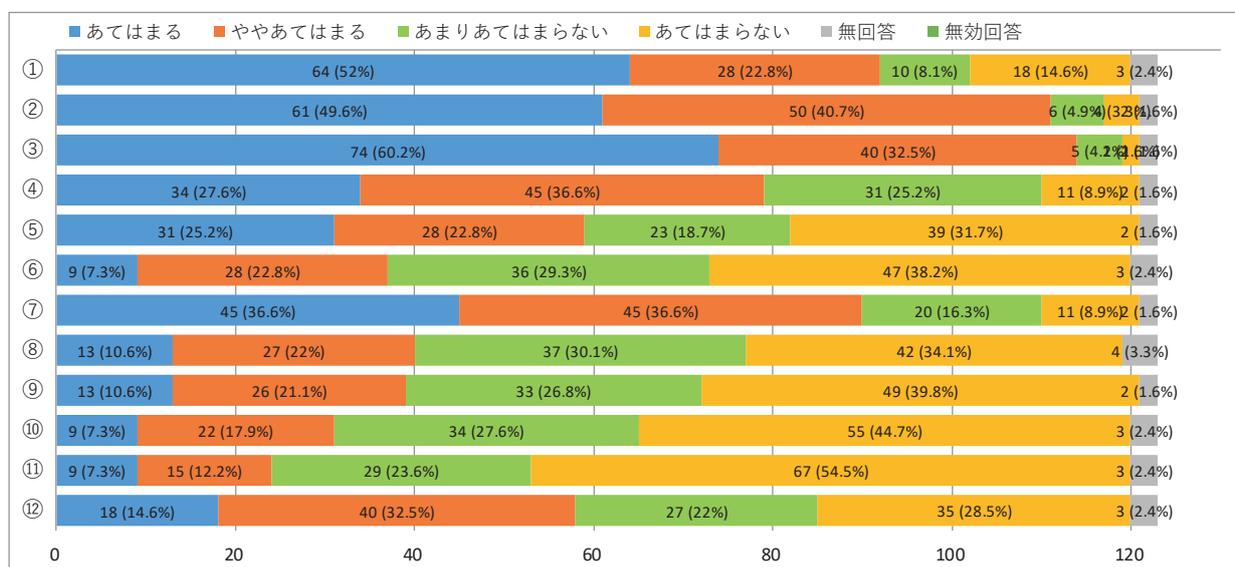
問8 認知症患者に対する診療以外に、先生が認知症に関連して担っている役割としてあてはまるものを選んでください。

	1	2	3	4	0	999
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答	無効回答
① 認知症患者への受診前相談	112	61	21	43	9	0
② 家族介護者への情報提供と心理的サポート	117	95	16	12	6	0
③ 介護保険サービスの利用支援（地域包括支援センターの案内・連携など）	135	79	11	15	6	0
④ 成年後見制度・日常生活自立支援事業等の利用支援（情報提供など）	71	78	50	40	7	0
⑤ 成年後見制度診断書・鑑定書の作成	65	53	41	81	6	0
⑥ 若年性認知症のためのサービス（自立支援医療、就労継続支援、若年性認知症の人のための地域サービスなど）の利用支援	26	52	66	91	11	0
⑦ 関係機関（介護保険事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など）からの相談の応需・助言・連携	83	90	37	26	10	0
⑧ 行政棟と連携した困難事例に対するアウトリーチによる支援	25	49	70	89	13	0
⑨ コメディカルや関係機関職員に対する講演・研修	27	44	56	111	8	0
⑩ 地域住民向けの講演会の開催または参画	19	43	57	119	8	0
⑪ 市区町村の認知症施策への助言または参画	18	26	55	138	9	0
⑫ （運転免許に関する診断書作成以外）自動車運転に関する相談と支援	35	66	60	78	7	0



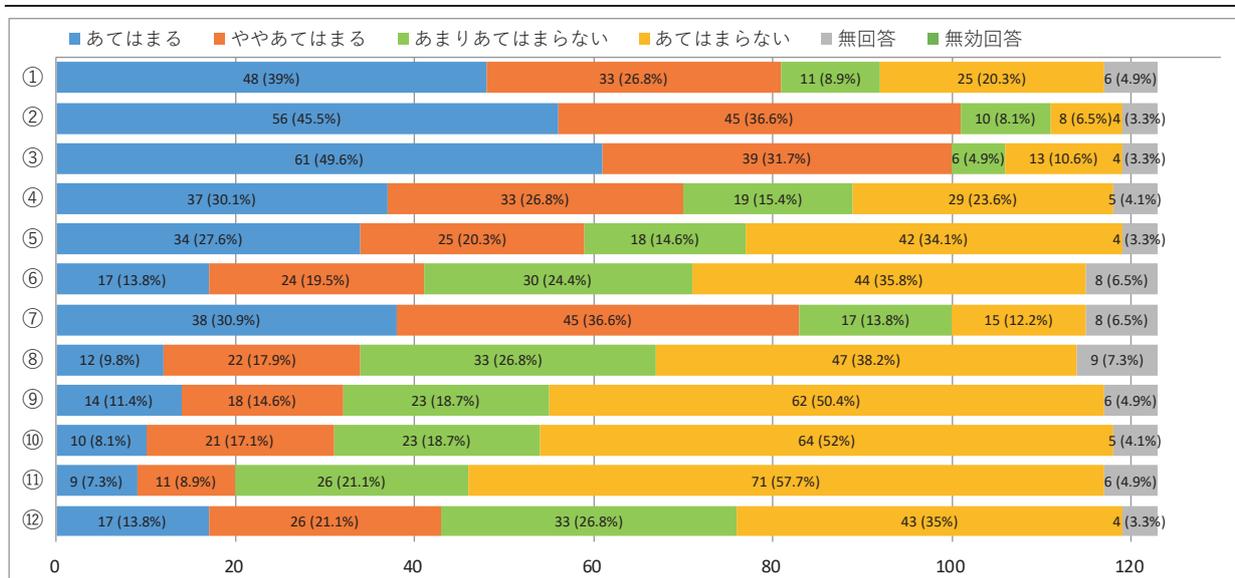
※( )は回収件数 (246件) 中の割合(%)

### クロス集計① 問8×問2-3「オレンジドクター」の資格を「持つ」場合（123件）



※( )は「オレンジドクター」の資格を「持つ」場合（123件）中の割合(%)

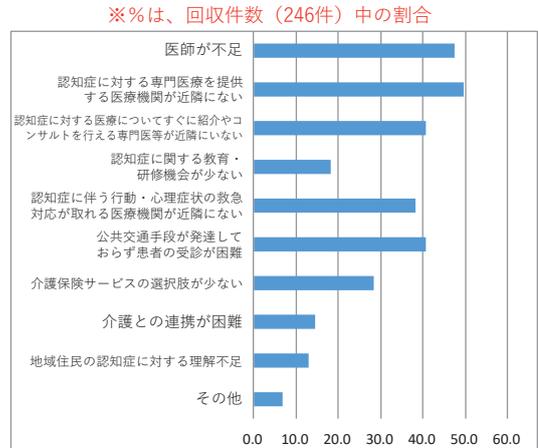
### クロス集計② 問8×問2-3「オレンジドクター」の資格を「持たない」場合（123件）



※( )は「オレンジドクター」の資格を「持たない」場合（123件）中の割合(%)

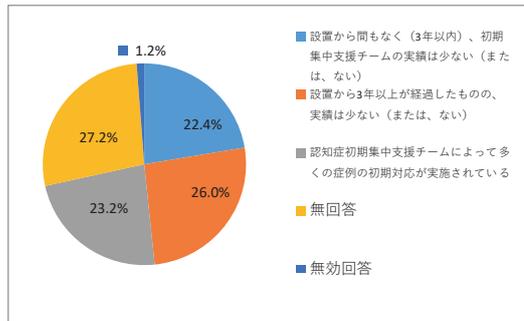
問9 山間部・離島において認知症医療を実践するにあたっての課題にはどのようなものがありますか。(複数回答可能)

	件数	割合(%)
1 医師が不足	117	47.6
2 認知症に対する専門医療を提供する医療機関が近隣にない	122	49.6
3 認知症に対する医療についてすぐに紹介やコンサルトを行える専門医等が近隣にいない	100	40.7
4 認知症に関する教育・研修機会が少ない	45	18.3
5 認知症に伴う行動・心理症状の救急対応が取れる医療機関が近隣にない	94	38.2
6 公共交通手段が発達しておらず患者の受診が困難	100	40.7
7 介護保険サービスの選択肢が少ない	70	28.5
8 介護との連携が困難	36	14.6
9 地域住民の認知症に対する理解不足	32	13.0
10 その他	17	6.9



問10 地域の認知症初期集中チームの活動状況はどのようなものですか？

	件数	割合(%)
1 設置から間もなく(3年以内)、初期集中支援チームの実績は少ない(または、ない)	55	22.4
2 設置から3年以上が経過したものの、実績は少ない(または、ない)	64	26.0
3 認知症初期集中支援チームによって多くの症例の初期対応が実施されている	57	23.2
0 無回答	67	27.2
999 無効回答	3	1.2
計	246	100.0



## 認知症地域医療の現状に関する調査票集計結果

(都市部と中山間地・離島部におけるかかりつけ医対象調査結果の比較)

それぞれの回答において都市部、中山間地・離島部で当てはまる回答の割合およびその差分を示した。

問 2-2 ご専門 (複数回答可能)

	都市部	中山間地・離島部	差分
精神科	22	6	16
脳神経内科	9	1	7
脳神経外科	10	1	9
一般内科	50	69	-19
老年内科	3	7	-4
その他	11	29	-18

問 3 お持ちの認知症関連の資格 (複数回答可能)

	都市部	中山間地・離島部	差分
認知症サポート医	41	36	5
認知症専門医	7	0	7
認知症診察医	7	0	7
認知症臨床専門医	1	0	1
認知症予防専門医	3	1	2
オレンジドクター	50	51	-1
その他	5	1	4

問 4 認知症診療における連携先専門医療機関について、当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答可能)

	都市部	中山間地・離島部	差分
認知症疾患医療センター	46	42	4
単科精神科病院	42	37	5
精神科クリニック	30	29	2
脳神経外科クリニック	25	16	10
脳神経内科クリニック	17	27	-9
総合病院	39	45	-6
その他	4	6	-2

問5 認知症患者に対する以下の診療行為について、問4の連携先専門医療機関との役割分担はどのようにおこなわれていますか。

(「主に自施設で行う」「自施設で行う事が多い」の合計を示す)

	都市部	中山間地・離島部	差分
行動・心理症状に対する外来診療	73	72	1
行動・心理症状に対する入院診療	21	12	9
行動・心理症状に対する救急対応	19	12	7
てんかんや正常圧水頭症等治療可能な認知症が疑われた場合の精査	16	6	10
てんかんや正常圧水頭症等治療可能な認知症への継続医療の提供	41	39	2
若年性認知症に関する精査	18	5	13
若年性認知症患者に対する継続医療の提供	38	24	14
軽度認知障害(MCI)患者に対する定期的なフォローアップ	77	75	2

問6 専門医療機関との連携に困難を感じたことはありますか。

	都市部	中山間地・離島部	差分
はい	28	30	-2
いいえ	71	67	3
無回答	2	2	-1

問6-1 「1.はい」と答えた先生にお尋ねします。どのような点に困難を感じましたか。(複数回答可能)

	都市部	中山間地・離島部	差分
専門医療機関を受診するまでに時間がかかった	68	56	12
十分に対応してもらえず終診となった	21	24	-3
情報提供が不十分で、専門医療機関での診療状況がわからなかった	22	24	-2
紹介した後に患者を戻して(逆紹介)もらえなかった	6	12	-6
その他	15	24	-9

問7 認知症診療において、対応が困難となった事例にはどのようなものがありますか。(複数回答可能)

	都市部	中山間地・離島部	差分
コントロール困難な行動・心理症状(徘徊を除く)	52	61	-9
せん妄	37	53	-16
徘徊	38	45	-6
独居・認知症者夫婦	53	57	-4
受診拒否	41	45	-3
拒薬・怠薬	38	52	-14
若年認知症	11	12	-1
金銭トラブル	16	12	4
運転免許返納	32	35	-3
その他	4	5	0

## 認知症地域医療の現状に関する調査票（都市部地域包括支援センター）集計結果

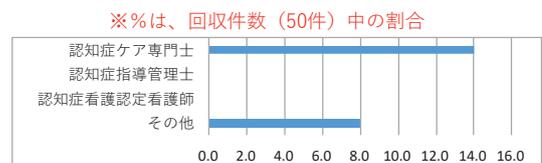
※「割合(%)」は小数点第二位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります

### ◆回収状況

回収件数	50
------	----

#### 問1 センター勤務職員の認知症関連のお持ちの資格（複数回答可能）

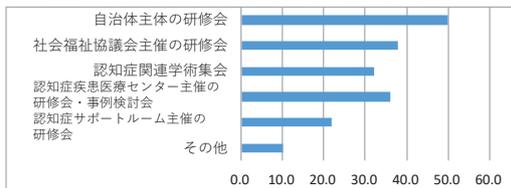
	件数	割合(%)
1 認知症ケア専門士	7	14.0
2 認知症指導管理士	0	0.0
3 認知症看護認定看護師	0	0.0
4 その他	4	8.0



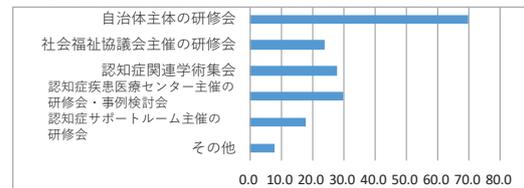
#### 問2 あなたや貴センター他職員が認知症や認知症の人に対する関わり方等、自己研鑽のために参加する機会、これまでのご参加状況について

	機会がある		参加した	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1 自治体主体の研修会	25	50.0	35	70.0
2 社会福祉協議会主催の研修会	19	38.0	12	24.0
3 認知症関連学術集会	16	32.0	14	28.0
4 認知症疾患医療センター主催の研修会・事例検討会	18	36.0	15	30.0
5 認知症サポートルーム主催の研修会	11	22.0	9	18.0
6 その他	5	10.0	4	8.0

「機会がある」※%は、回収件数（50件）中の割合



「参加した」※%は、回収件数（50件）中の割合



#### 問3 地域住民の方に認知機能の低下が疑われる場合、どのようなきっかけで発見されますか？（複数回答可能）

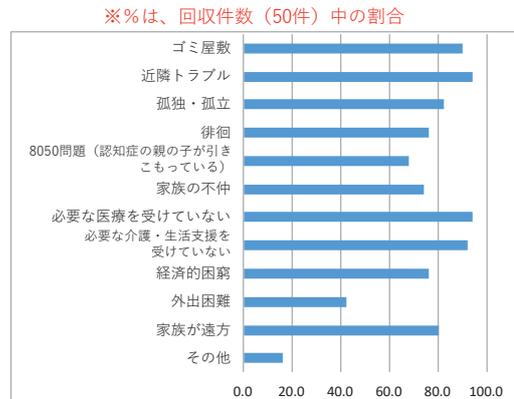
	件数	割合(%)
1 本人からの相談	36	72.0
2 家族からの相談	50	100.0
3 老人クラブなど高齢者団体からの相談	32	64.0
4 民生委員や見守りボランティアからの相談	49	98.0
5 地域包括支援センターや行政保健師、役所スタッフなどによる気づき（通いの場や自宅訪問時など）	37	74.0
6 地域住民からの相談や住民同士のトラブル	46	92.0
7 その他	12	24.0

※%は、回収件数（50件）中の割合



問4 認知機能の低下が疑われる人や認知症の人がお住まいの世帯ではどのような福祉課題がみられていますか。（複数回答可能）

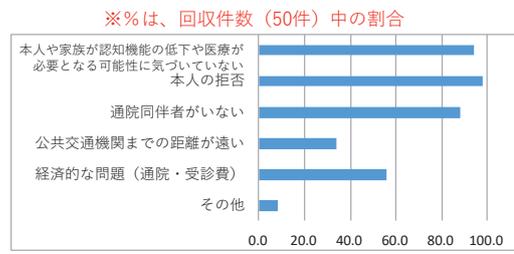
	件数	割合(%)
1 ゴミ屋敷	45	90.0
2 近隣トラブル	47	94.0
3 孤独・孤立	41	82.0
4 徘徊	38	76.0
5 8050問題（認知症の親の子が引きこもっている）	34	68.0
6 家族の不仲	37	74.0
7 必要な医療を受けていない	47	94.0
8 必要な介護・生活支援を受けていない	46	92.0
9 経済的困窮	38	76.0
10 外出困難	21	42.0
11 家族が遠方	40	80.0
12 その他	8	16.0



問5 認知機能の低下が疑われる人に対する受診勧奨や、認知症診断後の方の定期受診継続について困難を感じることはありますか。

①診断のための受診に関する課題（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 本人や家族が認知機能の低下や医療が必要となる可能性に気づいていない	47	94.0
2 本人の拒否	49	98.0
3 通院同伴者がいない	44	88.0
4 公共交通機関までの距離が遠い	17	34.0
5 経済的な問題（通院・受診費）	28	56.0
6 その他	4	8.0



②診断後の定期受診継続に関する課題（複数回答可能）

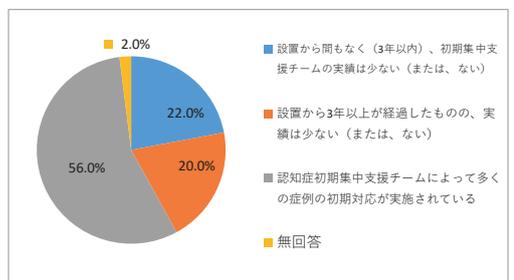
	件数	割合(%)
1 本人の拒否	44	88.0
2 通院同伴者がいない	48	96.0
3 公共交通機関までの距離が遠い	17	34.0
4 経済的な問題（通院・受診費）	25	50.0
5 その他	5	10.0



問6 地域包括支援センターと同法人が認知症初期集中支援チームを受託されている場合にご回答ください。

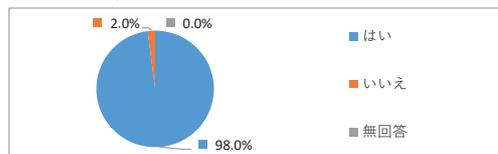
認知症初期集中支援チームの活動状況はどのようなものですか？

	件数	割合(%)
1 設置から間もなく（3年以内）、初期集中支援チームの実績は少ない（または、ない）	11	22.0
2 設置から3年以上が経過したものの、実績は少ない（または、ない）	10	20.0
3 認知症初期集中支援チームによって多くの症例の初期対応が実施されている	28	56.0
0 無回答	1	2.0
計	50	100.0



問7 地域における認知症初期集中支援チームに支援が必要な方をつないだ経験はありますか。

		件数	割合(%)
1	はい	49	98.0
2	いいえ	1	2.0
0	無回答	0	0.0
	計	50	100.0



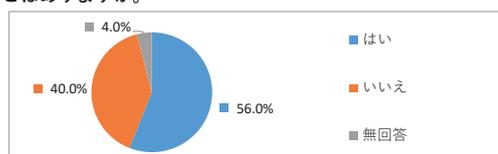
問7-1 「問7 1.はい」の場合、どのようなケースでしたか。(複数回答可能)

		件数	割合(%)
1	認知症疾患の診断を受けていないケース	45	91.8
2	継続的な医療サービスを受けていないケース	36	73.5
3	適切な介護保険サービスを利用していない・利用中断しているケース	38	77.6
4	医療・介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著であり、対応が困難なケース	25	51.0
5	その他	6	12.2



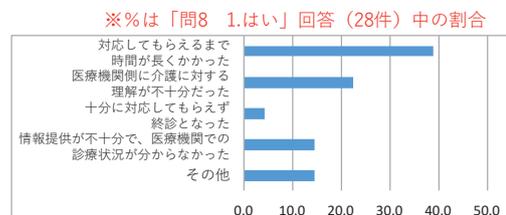
問8 地域で主に認知症診療にあたっている医療機関との連携に困難を感じたことはありますか。

		件数	割合(%)
1	はい	28	56.0
2	いいえ	20	40.0
0	無回答	2	4.0
	計	50	100.0



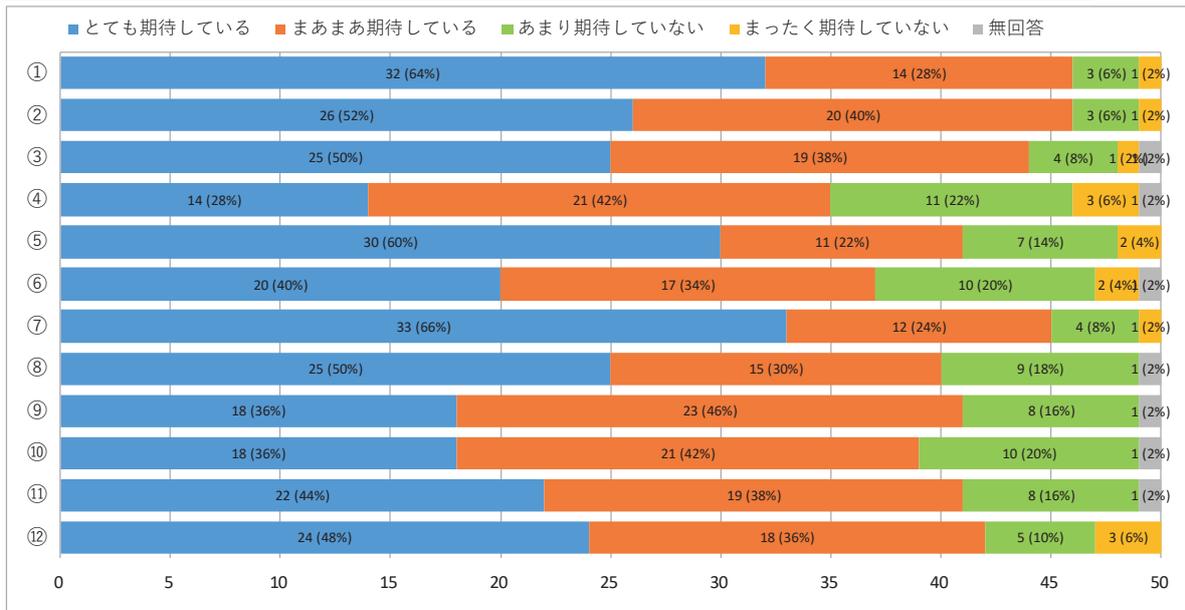
問8-1 「問8 1.はい」の場合、どのような点に困難を感じましたか。(複数回答可能)

		件数	割合(%)
1	対応してもらえるまで時間が長かった	19	38.8
2	医療機関側に介護に対する理解が不十分だった	11	22.4
3	十分に対応してもらえず終診となった	2	4.1
4	情報提供が不十分で、医療機関での診療状況が分からなかった	7	14.3
5	その他	7	14.3



問9 地域で主に認知症診療にあっている医療機関に対し、認知症の人に対する診療以外に期待している役割はありますか。

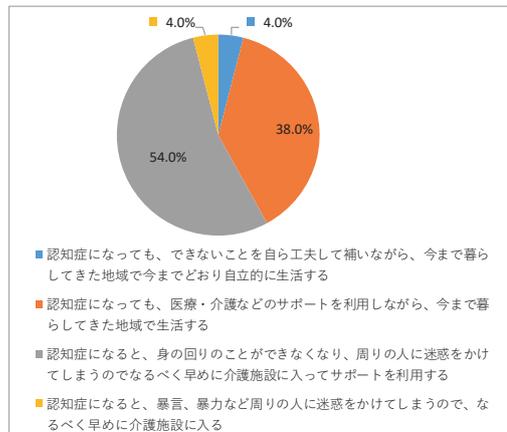
		1	2	3	4	0
		とても期待している	まあまあ期待している	あまり期待していない	まったく期待していない	無回答
①	認知症患者への受診前相談	32	14	3	1	0
②	家族介護者への情報提供と心理的サポート	26	20	3	1	0
③	介護保険サービスの利用支援（地域包括支援センターの案	25	19	4	1	1
④	成年後見制度・日常生活自立支援事業等の利用支援（情報提供など）	14	21	11	3	1
⑤	成年後見制度診断書・鑑定書の作成	30	11	7	2	0
⑥	若年性認知症のためのサービス（自立支援医療、就労継続支援、若年性認知症のための地域サービスなど）の利用支援	20	17	10	2	1
⑦	関係機関（介護保険事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など）からの相談の応需・助言・連携	33	12	4	1	0
⑧	行政等と連携した困難事例に対するアウトリーチによる支援	25	15	9	0	1
⑨	コメディカルや関係機関職員に対する講演・研修	18	23	8	0	1
⑩	地域住民向けの講演会の開催または参画	18	21	10	0	1
⑪	市区町村の認知症施策への助言または参画	22	19	8	0	1
⑫	（運転免許に関する診断書作成以外）自動車運転に関する相談と支援	24	18	5	3	0



※( )は回収件数 (50件) 中の割合 (%)

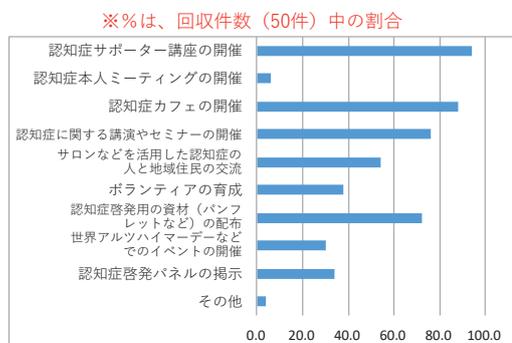
問10 認知症や認知症の人との関わりについて地域住民の認識はどのようなものですか？

	件数	割合(%)
1 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で今までどおり自立的に生活する	2	4.0
2 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する	19	38.0
3 認知症になると、身の回りのことができなくなり、周りの人に迷惑をかけてしまうのでなるべく早めに介護施設に入ってサポートを利用する	27	54.0
4 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、なるべく早めに介護施設に入る	2	4.0
計	50	100.0



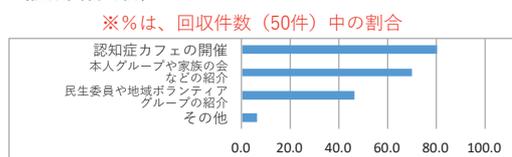
問11 地域住民の理解を促すために現在取り組んでおられることはありますか。(複数回答可能)

	件数	割合(%)
1 認知症サポーター講座の開催	47	94.0
2 認知症本人ミーティングの開催	3	6.0
3 認知症カフェの開催	44	88.0
4 認知症に関する講演やセミナーの開催	38	76.0
5 サロンなどを活用した認知症の人と地域住民の交流	27	54.0
6 ボランティアの育成	19	38.0
7 認知症啓発用の資材(パンフレットなど)の配布	36	72.0
8 世界アルツハイマーデーなどでのイベントの開催	15	30.0
9 認知症啓発パネルの掲示	17	34.0
10 その他	2	4.0



問12 家族の介護負担を軽減するために現在取り組んでいることはありますか。(複数回答可能)

	件数	割合(%)
1 認知症カフェの開催	40	80.0
2 本人グループや家族の会などの紹介	35	70.0
3 民生委員や地域ボランティアグループの紹介	23	46.0
4 その他	3	6.0



## 認知症地域医療の現状に関する調査票集計結果

(都市部と中山間地・離島部における地域包括支援センター対象調査結果の比較)

それぞれの回答において都市部、中山間地・離島部で当てはまる回答の割合およびその差分を示した。

問5 認知機能の低下が疑われる人に対する受信勧奨や、認知症診断後の方の定期受診継続について困難を感じることはありますか。

## ① 診断のための受診に関する課題（複数回答可能）

	都市部	中山間地・離島部	差分
本人や家族が認知機能の低下や医療が必要となる可能性に気づいていない	94	88	6
本人の拒否	98	96	2
通院同伴者がいない	88	92	-4
公共交通機関までの距離が遠い	34	58	-24
経済的な問題（通院・受診費）	56	54	2
その他	8	4	4

## ② 診断後の定期受診継続に関する課題（複数回答可能）

	都市部	中山間地・離島部	差分
本人や家族が認知機能の低下や医療が必要となる可能性に気づいていない	88	92	-4
本人の拒否	96	92	4
通院同伴者がいない	34	54	-20
公共交通機関までの距離が遠い	50	46	4
経済的な問題（通院・受診費）	10	4	6
その他	8	4	4

問6 地域包括支援センターと同法人が認知症初期集中支援チームを受託されている場合にご回答ください。認知症初期集中支援チームの活動状況はどのようなものですか？

	都市部	中山間地・離島部	差分
設置から間もなく（3年以内）、初期集中支援チームの実績は少ない（または、ない）	22	0	22
設置から3年以上が経過したものの、実績は少ない（または、ない）	20	23	-3
認知症初期集中支援チームによって多くの症例の初期対応が実施されている	56	23	33
無回答	2	54	-52

問7 地域における認知症初期集中支援チームに支援が必要な方をつないだ経験はありますか。

	都市部	中山間地・離島部	差分
はい	98	81	17
いいえ	2	15	-13
無回答	0	4	-4

問7-1 「問7 1.はい」の場合、どのようなケースでしたか。(複数回答可能)

	都市部	中山間地・離島部	差分
認知症疾患の診断を受けていないケース	92	95	-3
継続的な医療サービスを受けていないケース	73	86	-12
適切な介護保険サービスを利用していない・利用中断しているケース	78	76	1
医療・介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著であり、対応が困難なケース	51	48	3
その他	12	5	7

問8 地域で主に認知症診療にあたっている医療機関との連携に困難を感じたことはありますか。

	都市部	中山間地・離島部	差分
はい	56	27	29
いいえ	40	69	-29
無回答	4	4	0

問8-1 「問8 1.はい」の場合、どのような点に困難を感じましたか。(複数回答可能)

	都市部	中山間地・離島部	差分
対応してもらえるまで時間が長かった	68	29	39
医療機関側に介護に対する理解が不十分だった	39	29	11
十分に対応してもらえず終診となった	7	14	-7
情報提供が不十分で、医療機関での診療状況が分からなかった	25	14	11
その他	25	43	-18

問 10 認知症や認知症の人との関わりについて地域住民の認識はどのようなものですか？

	都市部	中山間地・離島部	差分
認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で今までどおり自立的に生活する	4	4	0
認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する	38	46	-8
認知症になると、身の回りのことができなくなり、周りの人に迷惑をかけてしまうのでなるべく早めに介護施設に入ってサポートを利用する	54	38	16
認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、なるべく早めに介護施設に入る	4	4	0
無回答	0	4	-4
無効回答	0	4	-4

問 11 地域住民の理解を促すために現在取り組んでおられることはありますか。(複数回答可能)

	都市部	中山間地・離島部	差分
認知症サポーター講座の開催	94	88	6
認知症本人ミーティングの開催	6	4	2
認知症カフェの開催	88	81	7
認知症に関する講演やセミナーの開催	76	62	14
サロンなどを活用した認知症の人と地域住民の交流	54	23	31
ボランティアの育成	38	12	26
認知症啓発用の資材（パンフレットなど）の配布	72	65	7
世界アルツハイマーデーなどでのイベントの開催	30	42	-12
認知症啓発パネルの掲示	34	42	-8
その他	4	15	-11

問 12 家族の介護負担を軽減するために現在取り組んでいることはありますか。(複数回答可能)

	都市部	中山間地・離島部	差分
認知症カフェの開催	80	85	-5
本人グループや家族の会などの紹介	70	42	28
民生委員や地域ボランティアグループの紹介	46	46	0
その他	6	19	-13

## 認知症地域医療の現状に関する調査票集計結果

(かかりつけ医・地域包括支援センター地域別比較)

医療機関の役割についてはかかりつけ医対象調査票、地域包括支援センター対象調査票においてまったく同じ項目について質問を行っている。選択肢は「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4択である。「あてはまる」「ややあてはまる」の合計割合をかかりつけ医が担っている役割の程度(かかりつけ医調査票)もしくは期待されている役割の程度(包括支援センター対象調査票)とみなした。

さらに、かかりつけ医が担っている役割の程度と期待されている役割の程度(包括支援センター対象調査票)の差分を求めた。この差分については、かかりつけ医の役割に関して、地域包括支援センターとかかりつけ医の認識の相違を表していると考えられる。

### ●質問

(地域包括支援センター対象調査票)

問9 地域で主に認知症診療にあたっている医療機関に対し、認知症の人に対する診療以外に期待している役割はありますか。

(かかりつけ医対象調査票)

問8 認知症患者に対する診療以外に、先生が認知症に関連して担っている役割としてあてはまるものを選んでください。

### ●項目

- ① 認知症患者への受診前相談
- ② 家族介護者への情報提供と心理的サポート
- ③ 介護保険サービスの利用支援(地域包括支援センターの案内・連携など)
- ④ 成年後見制度・日常生活自立支援事業等の利用支援(情報提供など)
- ⑤ 成年後見制度診断書・鑑定書の作成
- ⑥ 若年性認知症のためのサービス(自立支援医療、就労継続支援、若年性認知症の人のための地域サービスなど)の利用支援
- ⑦ 関係機関(介護保険事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など)からの相談の応需・助言・連携
- ⑧ 行政棟と連携した困難事例に対するアウトリーチによる支援
- ⑨ コメディカルや関係機関職員に対する講演・研修
- ⑩ 地域住民向けの講演会の開催または参画
- ⑪ 市区町村の認知症施策への助言または参画
- ⑫ (運転免許に関する診断書作成以外)自動車運転に関する相談と支援

## 都市部

	包括支援センター	かかりつけ医	差分
認知症患者への受診前相談	92	70	-22
家族介護者への情報提供と心理的サポート	92	86	-6
介護保険サービスの利用支援（地域包括支援センターの案内・連携など）	88	87	-1
成年後見制度・日常生活自立支援事業等の利用支援（情報提供など）	70	61	-9
成年後見制度診断書・鑑定書の作成	82	48	-34
若年性認知症のためのサービス（自立支援医療、就労継続支援、若年性認知症のための地域サービスなど）の利用支援	74	32	-42
関係機関（介護保険事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など）からの相談の応需・助言・連携	90	70	-20
行政等と連携した困難事例に対するアウトリーチによる支援	80	30	-50
コメディカルや関係機関職員に対する講演・研修	82	29	-53
地域住民向けの講演会の開催または参画	78	25	-53
市区町村の認知症施策への助言または参画	82	18	-64
（運転免許に関する診断書作成以外）自動車運転に関する相談と支援	84	41	-43

## 中山間地・離島部

	包括支援センター	かかりつけ医	差分
認知症患者への受診前相談	88	81	-8
家族介護者への情報提供と心理的サポート	88	86	-3
介護保険サービスの利用支援（地域包括支援センターの案内・連携など）	85	88	3
成年後見制度・日常生活自立支援事業等の利用支援（情報提供など）	65	52	-14
成年後見制度診断書・鑑定書の作成	88	40	-49
若年性認知症のためのサービス（自立支援医療、就労継続支援、若年性認知症のための地域サービスなど）の利用支援	73	22	-51
関係機関（介護保険事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など）からの相談の応需・助言・連携	92	83	-9
行政等と連携した困難事例に対するアウトリーチによる支援	85	39	-46
コメディカルや関係機関職員に対する講演・研修	85	27	-58
地域住民向けの講演会の開催または参画	77	27	-50
市区町村の認知症施策への助言または参画	88	31	-57
（運転免許に関する診断書作成以外）自動車運転に関する相談と支援	85	49	-35

## 都市部、中山間地・離島部の差分比較

	都市部差分	中山間地・離島部差分	比較
認知症患者への受診前相談	-22	-8	-14
家族介護者への情報提供と心理的サポート	-6	-3	-3
介護保険サービスの利用支援（地域包括支援センターの案内・連携など）	-1	3	-4
成年後見制度・日常生活自立支援事業等の利用支援（情報提供など）	-9	-14	4
成年後見制度診断書・鑑定書の作成	-34	-49	15
若年性認知症のためのサービス（自立支援医療、就労継続支援、若年性認知症のための地域サービスなど）の利用支援	-42	-51	9
関係機関（介護保険事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など）からの相談の応需・助言・連携	-20	-9	-10
行政等と連携した困難事例に対するアウトリーチによる支援	-50	-46	-4
コメディカルや関係機関職員に対する講演・研修	-53	-58	5
地域住民向けの講演会の開催または参画	-53	-50	-2
市区町村の認知症施策への助言または参画	-64	-57	-7
（運転免許に関する診断書作成以外）自動車運転に関する相談と支援	-43	-35	-8

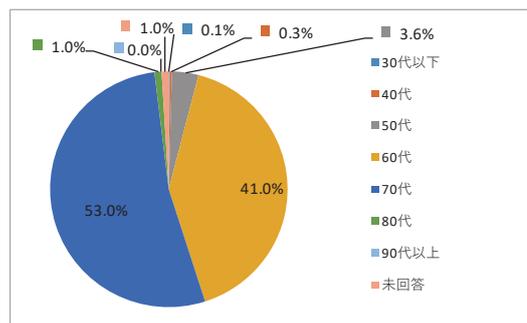
## 民生委員を対象とした認知症の人にやさしい地域づくりに関するアンケート (中山間地域) 集計結果

## ◆回収状況

回収件数	719
------	-----

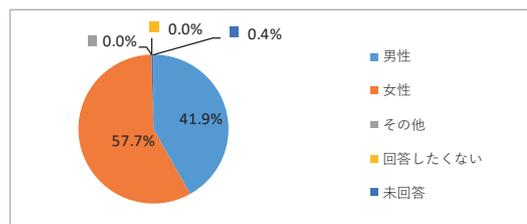
## 問1-1 年齢

区分	件数	割合(%)
30代以下	1	0.1
40代	2	0.3
50代	26	3.6
60代	295	41.0
70代	381	53.0
80代	7	1.0
90代以上	0	0.0
未回答	7	1.0
計	719	100.0



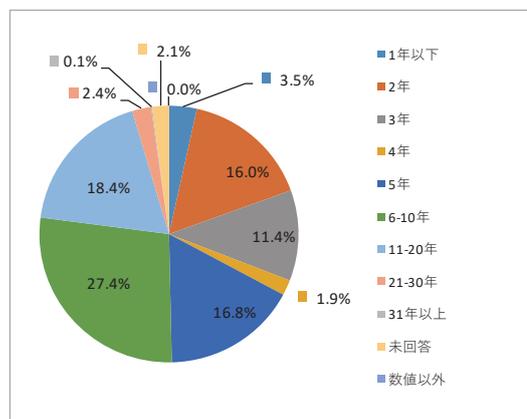
## 問1-2 性別

区分	件数	割合(%)
1 男性	301	41.9
2 女性	415	57.7
3 その他	0	0.0
4 回答したくない	0	0.0
未回答	3	0.4
計	719	100.0



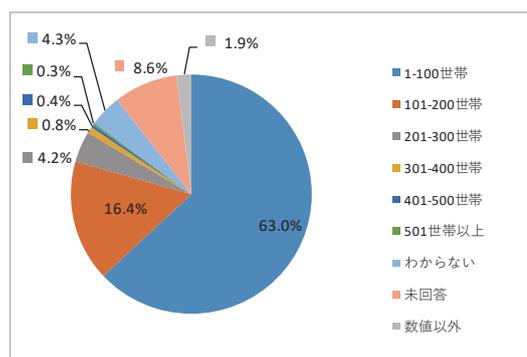
## 問1-3 民生委員在任期間

区分	件数	割合(%)
1年以下	25	3.5
2年	115	16.0
3年	82	11.4
4年	14	1.9
5年	121	16.8
6-10年	197	27.4
11-20年	132	18.4
21-30年	17	2.4
31年以上	1	0.1
未回答	15	2.1
数値以外	0	0.0
計	719	100.0



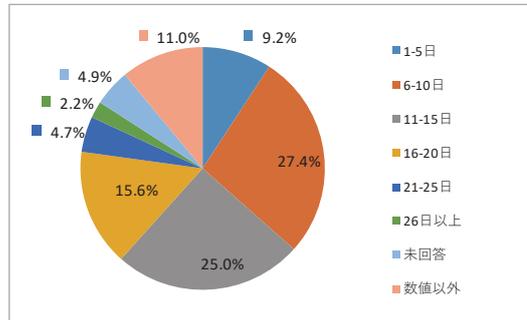
## 問1-4 民生委員として担当している世帯数

区分	件数	割合(%)
1-100世帯	453	63.0
101-200世帯	118	16.4
201-300世帯	30	4.2
301-400世帯	6	0.8
401-500世帯	3	0.4
501世帯以上	2	0.3
わからない	31	4.3
未回答	62	8.6
数値以外	14	1.9
計	719	100.0



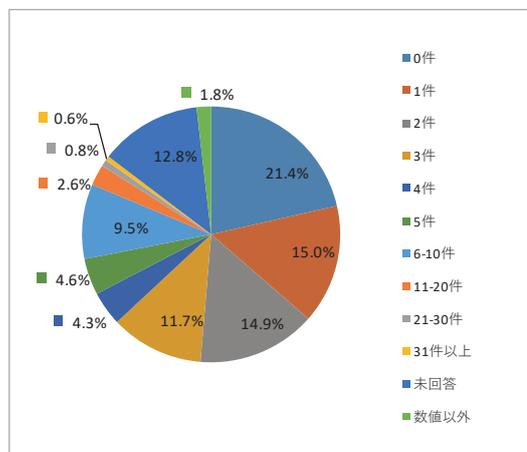
問1-6 1ヵ月あたりの活動日数

区分	件数	割合(%)
1-5日	66	9.2
6-10日	197	27.4
11-15日	180	25.0
16-20日	112	15.6
21-25日	34	4.7
26日以上	16	2.2
未回答	35	4.9
数値以外	79	11.0
計	719	100.0



問1-7 認知症の人を支援した件数

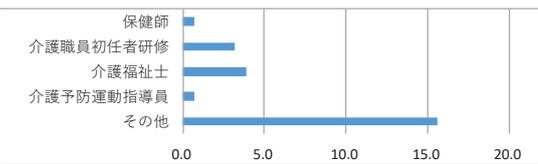
区分	件数	割合(%)
0件	154	21.4
1件	108	15.0
2件	107	14.9
3件	84	11.7
4件	31	4.3
5件	33	4.6
6-10件	68	9.5
11-20件	19	2.6
21-30件	6	0.8
31件以上	4	0.6
未回答	92	12.8
数値以外	13	1.8
計	719	100.0



問2 医療介護関係のお持ちの資格（複数回答可能）

区分	件数	割合(%)
1 保健師	5	0.7
2 介護職員初任者研修	23	3.2
3 介護福祉士	28	3.9
4 介護予防運動指導員	5	0.7
5 その他	112	15.6

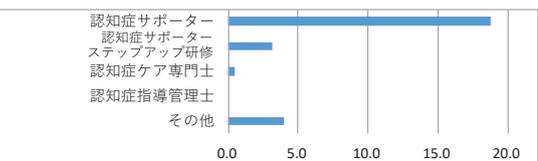
※%は回収件数（719件）中の割合



問3 認知症関連のお持ちの資格（複数回答可能）

区分	件数	割合(%)
1 認知症サポーター	135	18.8
2 認知症サポーターステップアップ研修	23	3.2
3 認知症ケア専門士	3	0.4
4 認知症指導管理士	0	0.0
5 その他	29	4.0

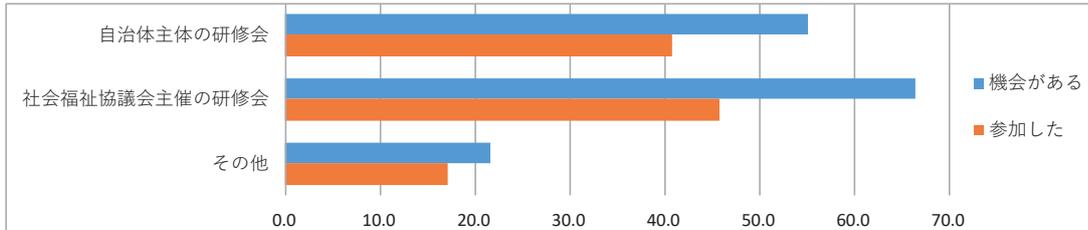
※%は回収件数（719件）中の割合



問4 認知症や認知症の人に対する関わり方等、学習のために参加する機会、これまでの参加状況について（複数回答）

区分	機会がある		参加した	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1 自治体主体の研修会	396	55.1	293	40.8
2 社会福祉協議会主催の研修会	477	66.3	329	45.8
3 その他	155	21.6	123	17.1

※%は回収件数（719件）中の割合



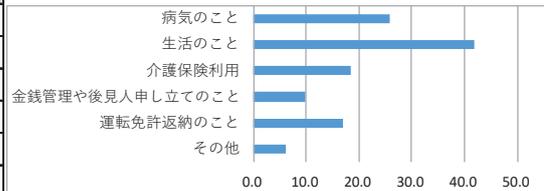
問5 認知機能の低下が疑われる人や認知症の人がお住まいの世帯に関し、民生委員として関わるケースについて

1) 本人、家族や地域住民からどのような相談をうけることが多いですか？

①本人からの相談（複数回答可能）

区分	件数	割合(%)
1 病気のこと	186	25.9
2 生活のこと	301	41.9
3 介護保険利用	133	18.5
4 金銭管理や後見人申し立てのこと	71	9.9
5 運転免許返納のこと	122	17.0
6 その他	44	6.1

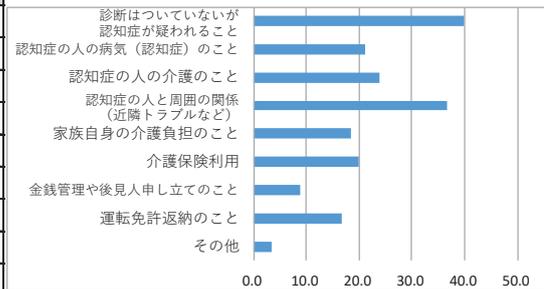
※%は回収件数（719件）中の割合



②家族や地域住民からの相談（複数回答可能）

区分	件数	割合(%)
1 診断はついていないが認知症が疑われること	286	39.8
2 認知症の人の病気（認知症）のこと	153	21.3
3 認知症の人の介護のこと	171	23.8
4 認知症の人と周囲の関係（近隣トラブルなど）	263	36.6
5 家族自身の介護負担のこと	133	18.5
6 介護保険利用	143	19.9
7 金銭管理や後見人申し立てのこと	63	8.8
8 運転免許返納のこと	120	16.7
9 その他	24	3.3

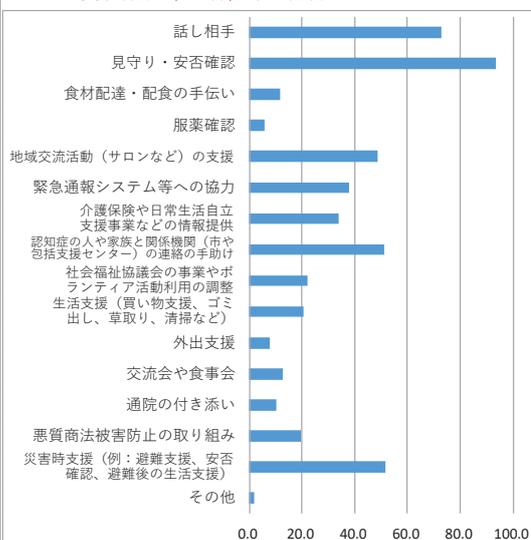
※%は回収件数（719件）中の割合



2) 民生委員として行う支援にはどのようなものがありますか？（複数回答可能）

区分	件数	割合(%)
1 話し相手	523	72.7
2 見守り・安否確認	672	93.5
3 食材配達・配食の手伝い	84	11.7
4 服薬確認	43	6.0
5 地域交流活動（サロンなど）の支援	350	48.7
6 緊急通報システム等への協力	274	38.1
7 介護保険や日常生活自立支援事業などの情報提供	244	33.9
8 認知症の人や家族と関係機関（市や包括支援センター）の連絡の手助け	369	51.3
9 社会福祉協議会の事業やボランティア活動利用の調整	160	22.3
10 生活支援（買い物支援、ゴミ出し、草取り、清掃など）	150	20.9
11 外出支援	56	7.8
12 交流会や食事会	92	12.8
13 通院の付き添い	74	10.3
14 悪質商法被害防止の取り組み	140	19.5
15 災害時支援（例：避難支援、安否確認、避難後の生活支援）	371	51.6
16 その他	15	2.1

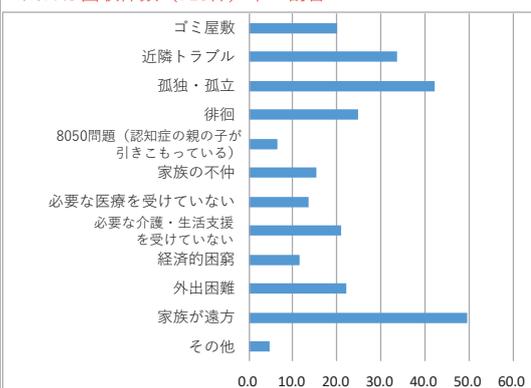
※%は回収件数（719件）中の割合



問6 認知機能の低下が疑われる人や認知症の人がお住まいの世帯ではどのような福祉課題がみられていますか（複数回答可能）

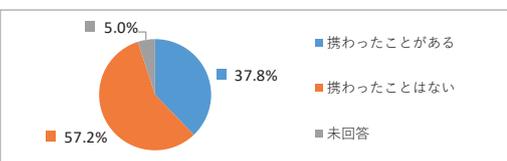
区分	件数	割合(%)
1 ゴミ屋敷	145	20.2
2 近隣トラブル	243	33.8
3 孤独・孤立	303	42.1
4 徘徊	179	24.9
5 8050問題（認知症の親の子が引きこもっている）	47	6.5
6 家族の不仲	111	15.4
7 必要な医療を受けていない	97	13.5
8 必要な介護・生活支援を受けていない	150	20.9
9 経済的困窮	83	11.5
10 外出困難	160	22.3
11 家族が遠方	356	49.5
12 その他	33	4.6

※%は回収件数（719件）中の割合



問7 認知症の人のみの世帯（認知症独居世帯、夫婦ともに認知症である世帯など）が、その世帯だけでは日常生活を維持することが難しくなったケースに携わったことはありますか？

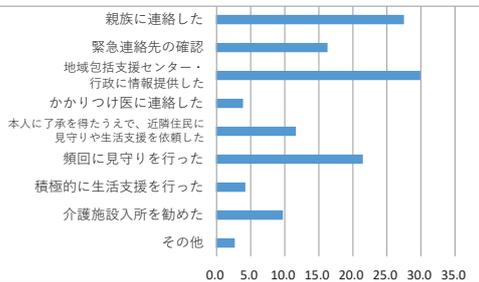
区分	件数	割合(%)
1 携わったことがある	272	37.8
2 携わったことはない	411	57.2
0 未回答	36	5.0
計	719	100.0



問7.1 「問7 1.携わったことがある」の場合、どのように対応しましたか？（複数回答可能）

区分	件数	割合(%)
1 親族に連絡した	198	27.5
2 緊急連絡先の確認	118	16.4
3 地域包括支援センター・行政に情報提供した	216	30.0
4 かかりつけ医に連絡した	28	3.9
5 本人に了承を得たうえで、近隣住民に見守りや生活支援を依頼した	84	11.7
6 頻回に見守りを行った	155	21.6
7 積極的に生活支援を行った	31	4.3
8 介護施設入所を勧めた	70	9.7
9 その他	20	2.8

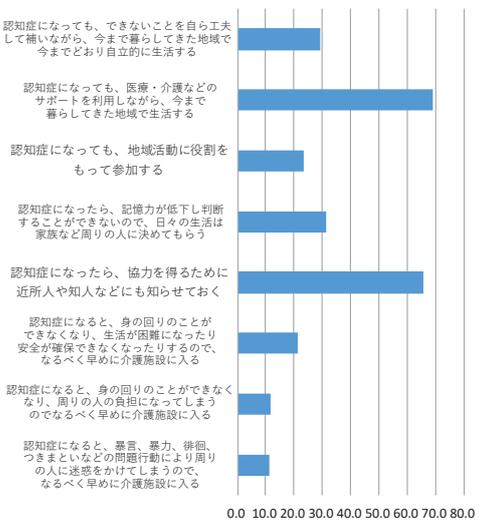
※%は回収件数（719件）中の割合



問8 地域住民が認知症を発症した場合、どのように過ごすのが適切であるとお考えですか？（複数回答可能）

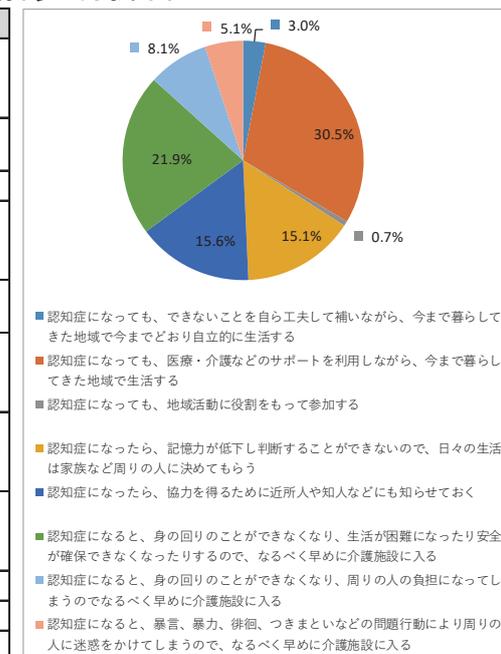
区分	件数	割合(%)
1 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で今までどおり自立的に生活する	211	29.3
2 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する	496	69.0
3 認知症になっても、地域活動に役割をもって参加する	168	23.4
4 認知症になったら、記憶力が低下し判断することができないので、日々の生活は家族など周りの人に決めてもらう	227	31.6
5 認知症になったら、協力を得るために近所人や知人などにも知らせておく	474	65.9
6 認知症になると、身の回りのことができなくなり、生活が困難になったり安全が確保できなくなったりするので、なるべく早めに介護施設に入る	154	21.4
7 認知症になると、身の回りのことができなくなり、周りの人の負担になってしまうのでなるべく早めに介護施設に入る	84	11.7
8 認知症になると、暴言、暴力、徘徊、つきまといなどの問題行動により周りの人に迷惑をかけるので、なるべく早めに介護施設に入る	82	11.4

※%は回収件数（719件）中の割合



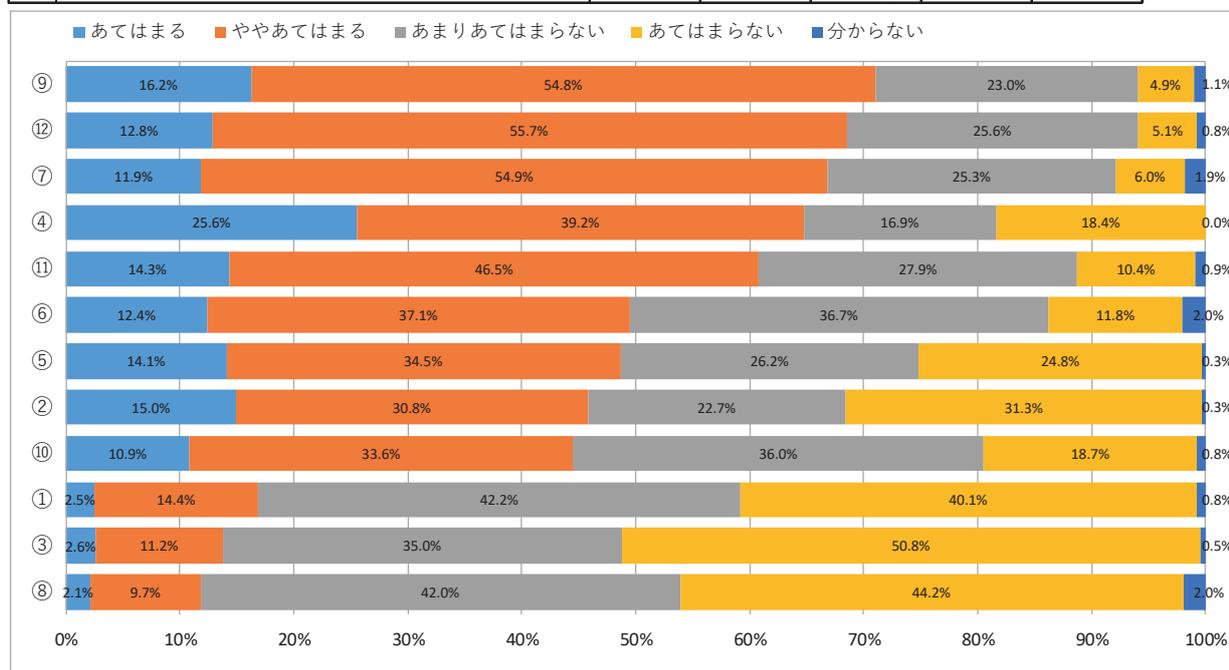
問9 周囲の地域住民の方は認知症に対してどのようなイメージを持っている方が多いでしょうか？

区分	件数	割合(%)
1 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で今までどおり自立的に生活する	13	1.8
2 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する	131	18.2
3 認知症になっても、地域活動に役割をもって参加する	3	0.4
4 認知症になったら、記憶力が低下し判断することができないので、日々の生活は家族など周りの人に決めてもらう	65	9.0
5 認知症になったら、協力を得るために近所人や知人などにも知らせておく	67	9.3
6 認知症になると、身の回りのことができなくなり、生活が困難になったり安全が確保できなくなったりするので、なるべく早めに介護施設に入る	94	13.1
7 認知症になると、身の回りのことができなくなり、周りの人の負担になってしまうのでなるべく早めに介護施設に入る	35	4.9
8 認知症になると、暴言、暴力、徘徊、つきまといなどの問題行動により周りの人に迷惑をかけるので、なるべく早めに介護施設に入る	22	3.1
0 未回答	52	7.2
999 無効回答	237	33.0
計	719	100.0



問10 お住まいの地域は、認知症の人にとってどのような地域だと思われますか？

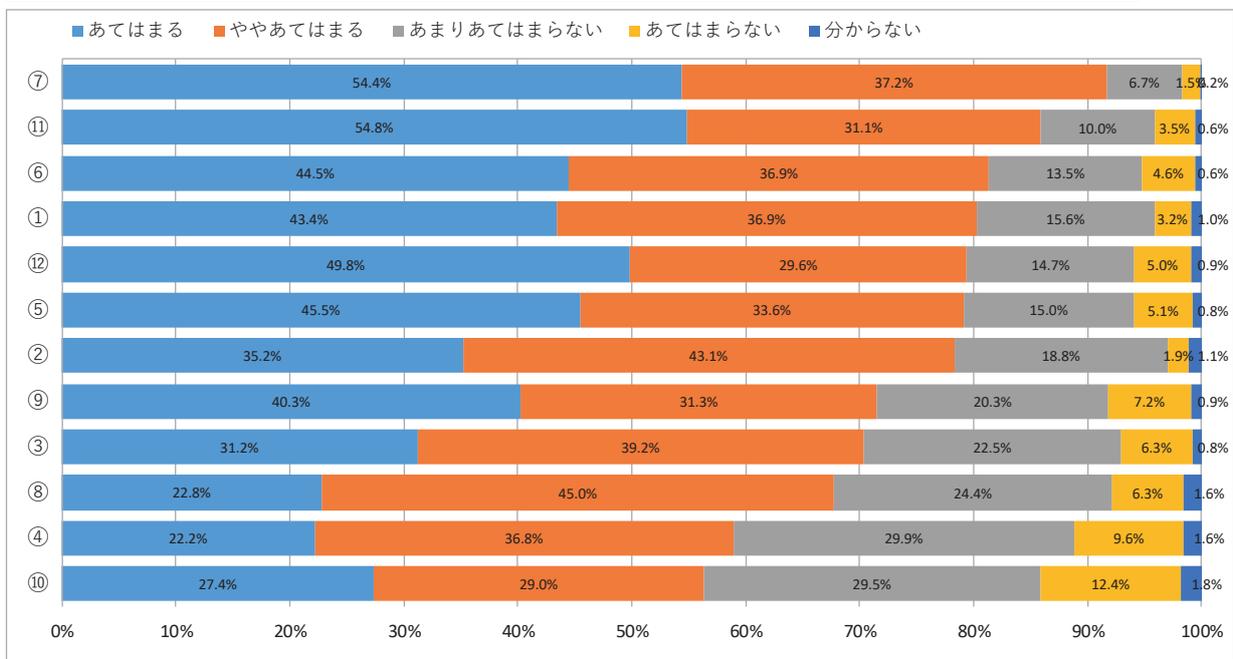
		1	2	3	4	5
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	分からない
⑨	地域では、行政や民間のサービスによって日常生活や健康のために必要な情報が提供されている	106 (16.2%)	358 (54.8%)	150 (23.0%)	32 (4.9%)	7 (1.1%)
⑫	地域では、見守りや手助けが必要な人に対し、近隣住民が支援している	85 (12.8%)	369 (55.7%)	170 (25.6%)	34 (5.1%)	5 (0.8%)
⑦	地域には、悩みがあるときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり助けを求めたりすることを恥ずかしいと感じる雰囲気がある	77 (11.9%)	356 (54.9%)	164 (25.3%)	39 (6.0%)	12 (1.9%)
④	地域では、住まいの近くに日々の生活や医療・介護などに関わるサービスや施設がある	171 (25.6%)	262 (39.2%)	113 (16.9%)	123 (18.4%)	0 (0.0%)
⑪	地域では、医療・介護の制度やサービス、その他の地域サービスに関する相談窓口が分かりやすいように設けてある	94 (14.3%)	305 (46.5%)	183 (27.9%)	68 (10.4%)	6 (0.9%)
⑥	地域では、認知症の人が地域の人々から大切にされ、地域の一員である	80 (12.4%)	239 (37.1%)	237 (36.7%)	76 (11.8%)	13 (2.0%)
⑤	地域では、認知症の人が地域の人たちと交流したり、地域の集まりに参加したりしている（認知症カフェやサロンを含める）	93 (14.1%)	228 (34.5%)	173 (26.2%)	164 (24.8%)	2 (0.3%)
②	地域には、徒歩圏内に電車やバス等の公共交通機関、地域乗り合いタクシーを利用できる場所がある	99 (15.0%)	204 (30.8%)	150 (22.7%)	207 (31.3%)	2 (0.3%)
⑩	地域では、災害や緊急時のための情報集約（避難時の要援護者など）や訓練を行っている	72 (10.9%)	223 (33.6%)	239 (36.0%)	124 (18.7%)	5 (0.8%)
①	地域にある通りや建物は、安全やわかりやすさに配慮している（例）車いす・杖・歩行者などを利用していても歩行に支障がない、標識が	16 (2.5%)	94 (14.4%)	275 (42.2%)	261 (40.1%)	5 (0.8%)
③	地域の交通機関は、徒歩が困難な方や目・耳の不自由な方でも利用に支障がない	17 (2.6%)	73 (11.2%)	229 (35.0%)	332 (50.8%)	3 (0.5%)
⑧	認知症の人が、ボランティア活動などの地域に貢献できる役割を担う機会がある	14 (2.1%)	64 (9.7%)	277 (42.0%)	291 (44.2%)	13 (2.0%)



※%は有効回答件数中の割合(%)

問11 認知症の人への支援としてどのようなものが必要だと思われますか？

		1	2	3	4	5
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	分からない
⑦	適切な医療や介護サービスの利用支援	358 (54.4%)	245 (37.2%)	44 (6.7%)	10 (1.5%)	1 (0.2%)
⑪	認知症の人に対応した災害時支援	358 (54.8%)	203 (31.1%)	65 (10.0%)	23 (3.5%)	4 (0.6%)
⑥	認知症の人の家族の相談や社会交流の場づくり	291 (44.5%)	241 (36.9%)	88 (13.5%)	30 (4.6%)	4 (0.6%)
①	認知症や認知症の人との関わり方等の啓発活動	273 (43.4%)	232 (36.9%)	98 (15.6%)	20 (3.2%)	6 (1.0%)
⑫	悪質商法被害防止の取り組み	322 (49.8%)	191 (29.6%)	95 (14.7%)	32 (5.0%)	6 (0.9%)
⑤	認知症の人の徘徊の発見や対応	292 (45.5%)	216 (33.6%)	96 (15.0%)	33 (5.1%)	5 (0.8%)
②	近隣住民の日常的関わりをさらに強めることによる、認知症の人の変化への気づき	227 (35.2%)	278 (43.1%)	121 (18.8%)	12 (1.9%)	7 (1.1%)
⑨	認知症の人が被害を受ける犯罪（虐待など）の防止や早期発見	256 (40.3%)	199 (31.3%)	129 (20.3%)	46 (7.2%)	6 (0.9%)
③	認知症の人に対する生活支援（買い物や移動など）	198 (31.2%)	249 (39.2%)	143 (22.5%)	40 (6.3%)	5 (0.8%)
⑧	早期に介護施設に入所できるような支援	145 (22.8%)	286 (45.0%)	155 (24.4%)	40 (6.3%)	10 (1.6%)
④	認知症の人の社会参加支援	141 (22.2%)	234 (36.8%)	190 (29.9%)	61 (9.6%)	10 (1.6%)
⑩	認知症の人による犯罪（万引きなど）の防止や早期発見	168 (27.4%)	178 (29.0%)	181 (29.5%)	76 (12.4%)	11 (1.8%)



※%は有効回答件数中の割合(%)

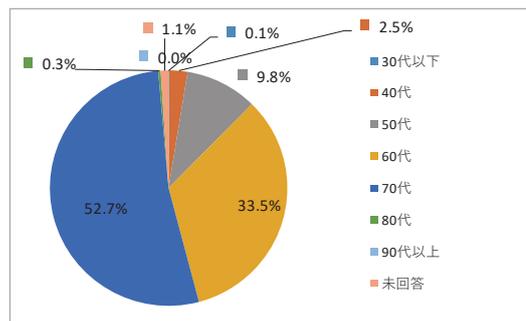
## 民生委員を対象とした認知症の人にやさしい地域づくりに関するアンケート (都市部) 集計結果

## ◆回収状況

回収件数	1205
------	------

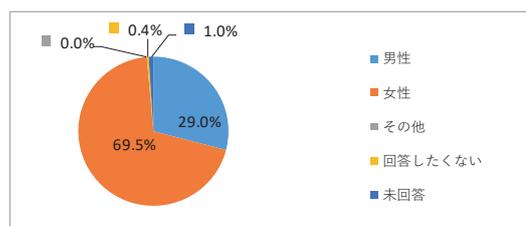
## 問1-1 年齢

区分	件数	割合(%)
30代以下	1	0.1
40代	30	2.5
50代	118	9.8
60代	404	33.5
70代	635	52.7
80代	4	0.3
90代以上	0	0.0
未回答	13	1.1
計	1,205	100.0



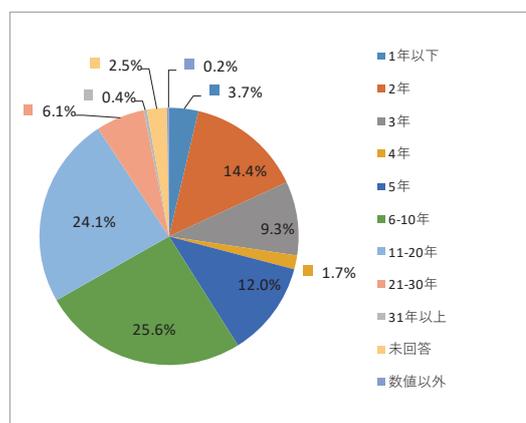
## 問1-2 性別

区分	件数	割合(%)
1 男性	350	29.0
2 女性	838	69.5
3 その他	0	0.0
4 回答したくない	5	0.4
未回答	12	1.0
計	1,205	100.0



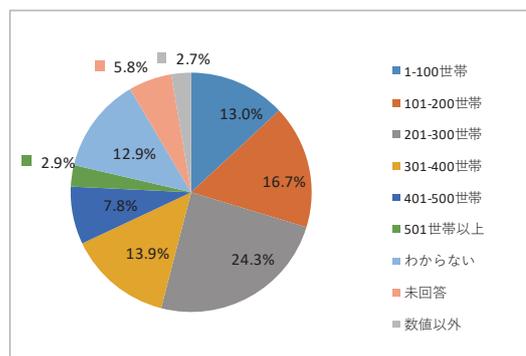
## 問1-3 民生委員在任期間

区分	件数	割合(%)
1年以下	44	3.7
2年	174	14.4
3年	112	9.3
4年	21	1.7
5年	144	12.0
6-10年	309	25.6
11-20年	290	24.1
21-30年	73	6.1
31年以上	5	0.4
未回答	30	2.5
数値以外	3	0.2
計	1,205	100.0



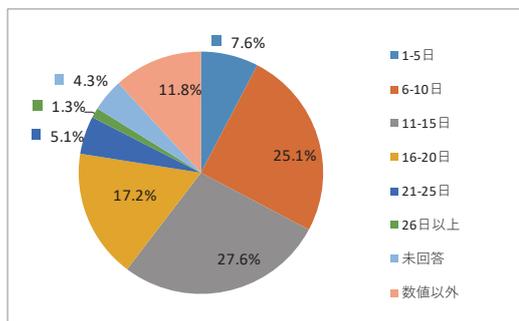
## 問1-4 民生委員として担当している世帯数

区分	件数	割合(%)
1-100世帯	157	13.0
101-200世帯	201	16.7
201-300世帯	293	24.3
301-400世帯	168	13.9
401-500世帯	94	7.8
501世帯以上	35	2.9
わからない	155	12.9
未回答	70	5.8
数値以外	32	2.7
計	1,205	100.0



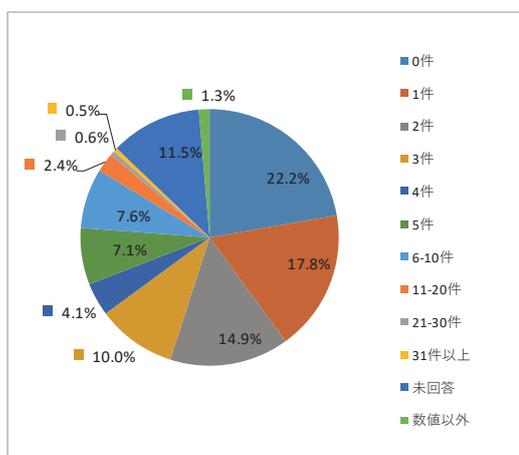
問1-6 1ヵ月あたりの活動日数

区分	件数	割合(%)
1-5日	92	7.6
6-10日	303	25.1
11-15日	332	27.6
16-20日	207	17.2
21-25日	61	5.1
26日以上	16	1.3
未回答	52	4.3
数値以外	142	11.8
計	1,205	100.0



問1-7 認知症の人を支援した件数

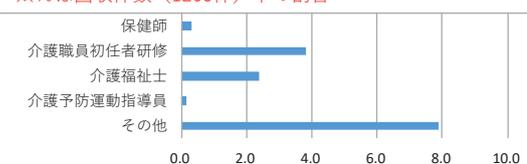
区分	件数	割合(%)
0件	268	22.2
1件	214	17.8
2件	180	14.9
3件	120	10.0
4件	50	4.1
5件	86	7.1
6-10件	91	7.6
11-20件	29	2.4
21-30件	7	0.6
31件以上	6	0.5
未回答	138	11.5
数値以外	16	1.3
計	1,205	100.0



問2 医療介護関係のお持ちの資格 (複数回答可能)

区分	件数	割合(%)
1 保健師	4	0.3
2 介護職員初任者研修	46	3.8
3 介護福祉士	29	2.4
4 介護予防運動指導員	2	0.2
5 その他	95	7.9

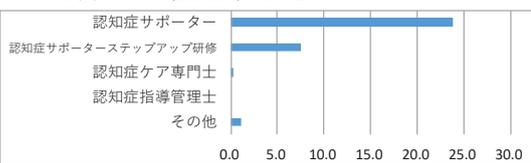
※%は回収件数(1205件)中の割合



問3 認知症関連のお持ちの資格 (複数回答可能)

区分	件数	割合(%)
1 認知症サポーター	288	23.9
2 認知症サポーターステップアップ研修	90	7.5
3 認知症ケア専門士	3	0.2
4 認知症指導管理士	0	0.0
5 その他	13	1.1

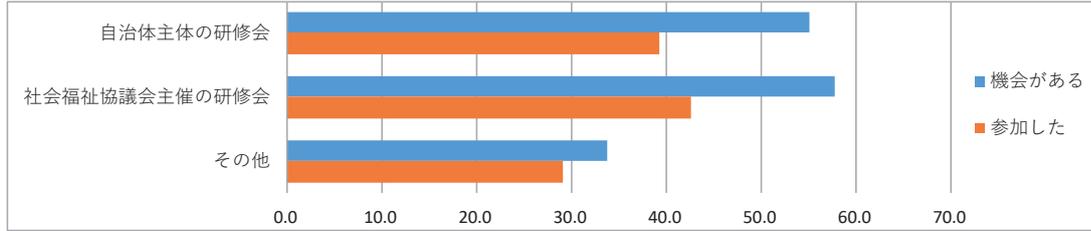
※%は回収件数(1205件)中の割合



問4 認知症や認知症の人に対する関わり方等、学習のために参加する機会、これまでの参加状況について（複数回答）

区分	機会がある		参加した	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1 自治体主体の研修会	663	55.0	472	39.2
2 社会福祉協議会主催の研修会	696	57.8	514	42.7
3 その他	406	33.7	350	29.0

※%は回収件数（1205件）中の割合



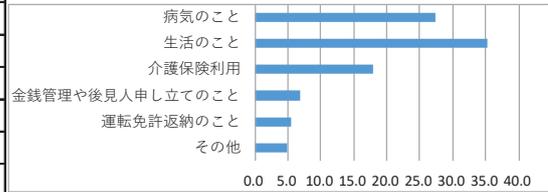
問5 認知機能の低下が疑われる人や認知症の人がお住まいの世帯に関し、民生委員として関わるケースについて

1) 本人、家族や地域住民からどのような相談をうけることが多いですか？

①本人からの相談（複数回答可能）

区分	件数	割合(%)
1 病気のこと	331	27.5
2 生活のこと	424	35.2
3 介護保険利用	215	17.8
4 金銭管理や後見人申し立てのこと	84	7.0
5 運転免許返納のこと	66	5.5
6 その他	59	4.9

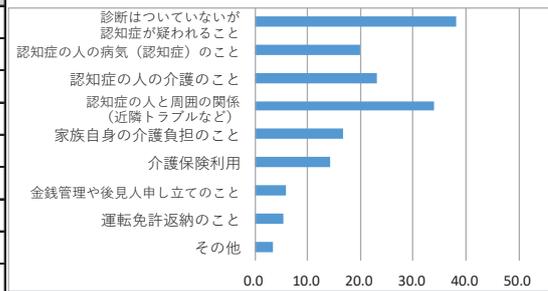
※%は回収件数（1205件）中の割合



②家族や地域住民からの相談（複数回答可能）

区分	件数	割合(%)
1 診断はついていないが認知症が疑われること	461	38.3
2 認知症の人の病気（認知症）のこと	240	19.9
3 認知症の人の介護のこと	279	23.2
4 認知症の人と周囲の関係（近隣トラブルなど）	409	33.9
5 家族自身の介護負担のこと	203	16.8
6 介護保険利用	172	14.3
7 金銭管理や後見人申し立てのこと	72	6.0
8 運転免許返納のこと	66	5.5
9 その他	40	3.3

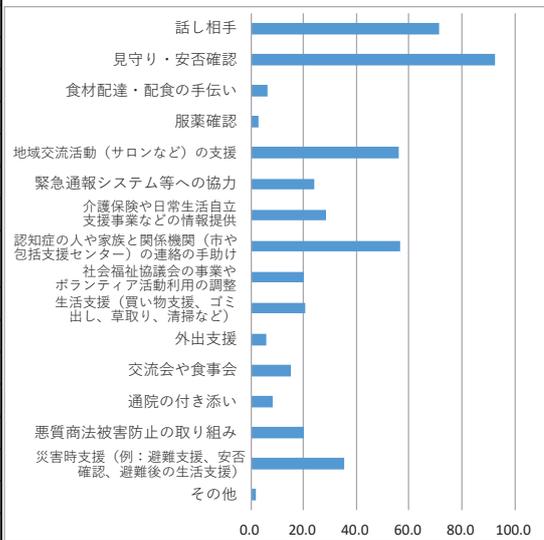
※%は回収件数（1205件）中の割合



2) 民生委員として行う支援にはどのようなものがありますか？（複数回答可能）

区分	件数	割合(%)
1 話し相手	863	71.6
2 見守り・安否確認	1,116	92.6
3 食材配達・配食の手伝い	79	6.6
4 服薬確認	37	3.1
5 地域交流活動（サロンなど）の支援	676	56.1
6 緊急通報システム等への協力	289	24.0
7 介護保険や日常生活自立支援事業などの情報提供	345	28.6
8 認知症の人や家族と関係機関（市や包括支援センター）の連絡の手助け	685	56.8
9 社会福祉協議会の事業やボランティア活動利用の調整	244	20.2
10 生活支援（買い物支援、ゴミ出し、草取り、清掃など）	252	20.9
11 外出支援	70	5.8
12 交流会や食事会	183	15.2
13 通院の付き添い	99	8.2
14 悪質商法被害防止の取り組み	245	20.3
15 災害時支援（例：避難支援、安否確認、避難後の生活支援）	425	35.3
16 その他	21	1.7

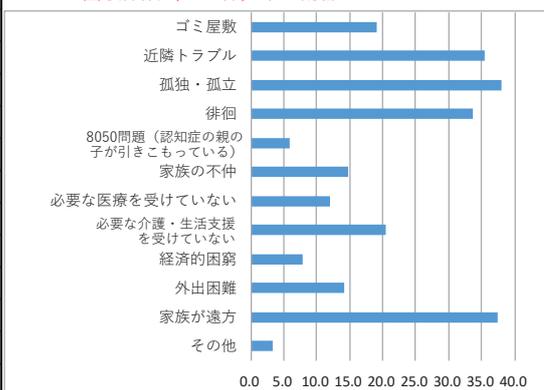
※%は回収件数（1205件）中の割合



問6 認知機能の低下が疑われる人や認知症の人がお住まいの世帯ではどのような福祉課題がみられていますか（複数回答可能）

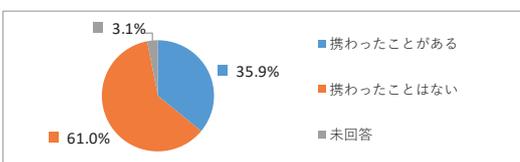
区分	件数	割合(%)
1 ゴミ屋敷	230	19.1
2 近隣トラブル	427	35.4
3 孤独・孤立	458	38.0
4 徘徊	407	33.8
5 8050問題（認知症の親の子が引きこもっている）	70	5.8
6 家族の不仲	177	14.7
7 必要な医療を受けていない	144	12.0
8 必要な介護・生活支援を受けていない	246	20.4
9 経済的困窮	94	7.8
10 外出困難	170	14.1
11 家族が遠方	451	37.4
12 その他	40	3.3

※%は回収件数（1205件）中の割合



問7 認知症の人のみの世帯（認知症独居世帯、夫婦ともに認知症である世帯など）が、その世帯だけでは日常生活を維持することが難しくなったケースに携わったことはありますか？

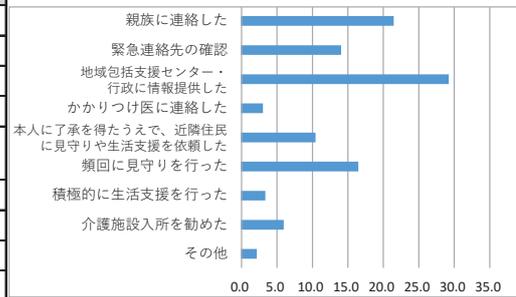
区分	件数	割合(%)
1 携わったことがある	433	35.9
2 携わったことはない	735	61.0
0 未回答	37	3.1
計	1,205	100.0



問7.1 「問7 1.携わったことがある」の場合、どのように対応しましたか？（複数回答可能）

区分	件数	割合(%)
1 親族に連絡した	259	21.5
2 緊急連絡先の確認	170	14.1
3 地域包括支援センター・行政に情報提供した	354	29.4
4 かかりつけ医に連絡した	38	3.2
5 本人に了承を得たうえで、近隣住民に見守りや生活支援を依頼した	126	10.5
6 頻回に見守りを行った	200	16.6
7 積極的に生活支援を行った	41	3.4
8 介護施設入所を勧めた	73	6.1
9 その他	27	2.2

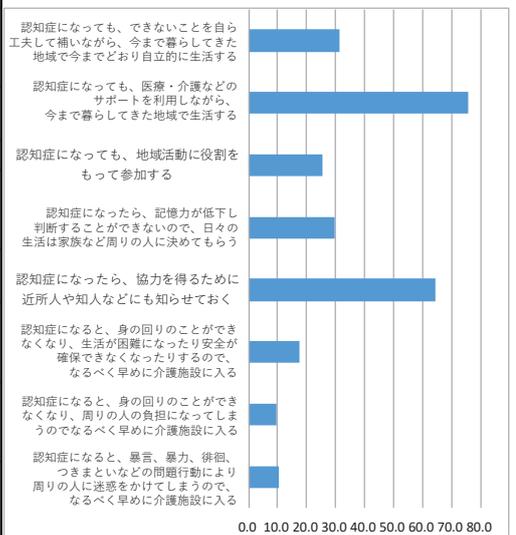
※%は回収件数（1205件）中の割合



問8 地域住民が認知症を発症した場合、どのように過ごすのが適切であるとお考えですか？（複数回答可能）

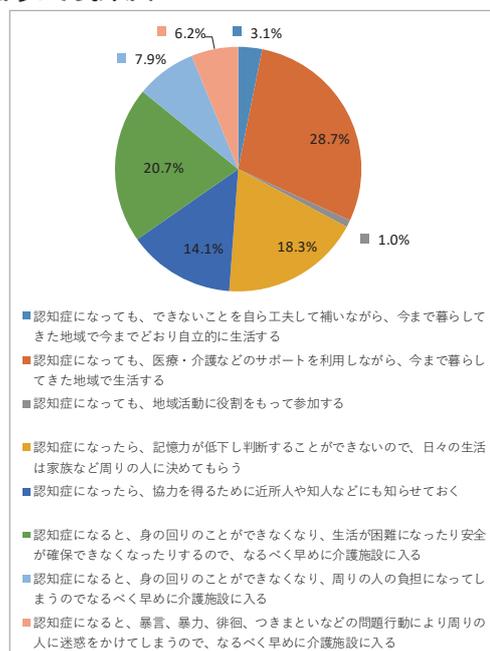
区分	件数	割合(%)
1 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で今までどおり自立的に生活する	379	31.5
2 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する	911	75.6
3 認知症になっても、地域活動に役割をもって参加する	309	25.6
4 認知症になったら、記憶力が低下し判断することができないので、日々の生活は家族など周りの人に決めてもらう	359	29.8
5 認知症になったら、協力を得るために近所人や知人などにも知らせておく	776	64.4
6 認知症になると、身の回りのことができなくなり、生活が困難になったり安全が確保できなくなったりするので、なるべく早めに介護施設に入る	214	17.8
7 認知症になると、身の回りのことができなくなり、周りの人の負担になってしまうのでなるべく早めに介護施設に入る	118	9.8
8 認知症になると、暴言、暴力、徘徊、つきまといなどの問題行動により周りの人に迷惑をかけるしまうので、なるべく早めに介護施設に入る	124	10.3

※%は回収件数（1205件）中の割合



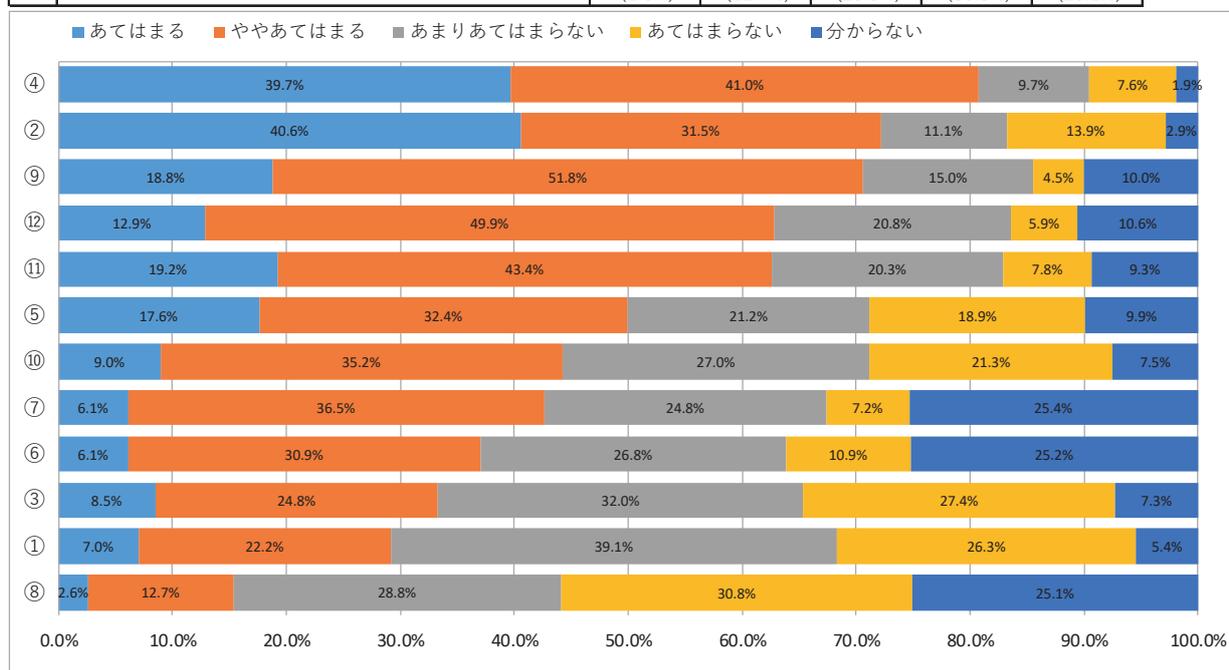
問9 周囲の地域住民の方は認知症に対してどのようなイメージを持っている方が多いでしょうか？

区分	件数	割合(%)
1 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で今までどおり自立的に生活する	23	1.9
2 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する	210	17.4
3 認知症になっても、地域活動に役割をもって参加する	7	0.6
4 認知症になったら、記憶力が低下し判断することができないので、日々の生活は家族など周りの人に決めてもらう	134	11.1
5 認知症になったら、協力を得るために近所人や知人などにも知らせておく	103	8.5
6 認知症になると、身の回りのことができなくなり、生活が困難になったり安全が確保できなくなったりするので、なるべく早めに介護施設に入る	151	12.5
7 認知症になると、身の回りのことができなくなり、周りの人の負担になってしまうのでなるべく早めに介護施設に入る	58	4.8
8 認知症になると、暴言、暴力、徘徊、つきまといなどの問題行動により周りの人に迷惑をかけるしまうので、なるべく早めに介護施設に入る	45	3.7
0 未回答	90	7.5
999 無効回答	384	31.9
計	1,205	100.0



問10 お住まいの地域は、認知症の人にとってどのような地域だと思われますか？

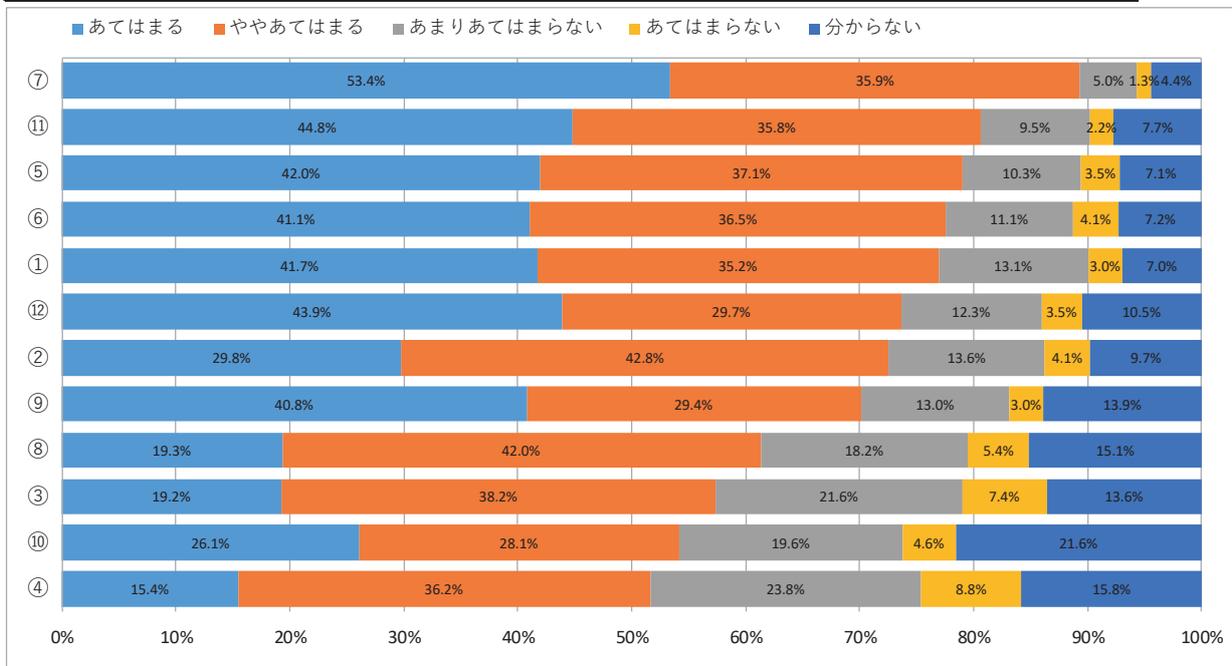
		1	2	3	4	5
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	分からない
④	地域では、住まいの近くに日々の生活や医療・介護などに関わるサービスや施設がある	458 (39.7%)	473 (41.0%)	112 (9.7%)	88 (7.6%)	22 (1.9%)
②	地域には、徒歩圏内に電車やバス等の公共交通機関、地域乗り合いタクシーを利用できる場所がある	466 (40.6%)	362 (31.5%)	127 (11.1%)	160 (13.9%)	33 (2.9%)
⑨	地域では、行政や民間のサービスによって日常生活や健康のために必要な情報が提供されている	215 (18.8%)	591 (51.8%)	171 (15.0%)	51 (4.5%)	114 (10.0%)
⑫	地域では、見守りや手助けが必要な人に対し、近隣住民が支援している	149 (12.9%)	577 (49.9%)	240 (20.8%)	68 (5.9%)	122 (10.6%)
⑪	地域では、医療・介護の制度やサービス、その他の地域サービスに関する相談窓口が分かりやすいように設	221 (19.2%)	499 (43.4%)	233 (20.3%)	90 (7.8%)	107 (9.3%)
⑤	地域では、認知症の人が地域の人たちと交流したり、地域の集まりに参加したりしている（認知症カフェや	203 (17.6%)	373 (32.4%)	245 (21.2%)	218 (18.9%)	114 (9.9%)
⑩	地域では、災害や緊急時のための情報集約（避難時の要援護者など）や訓練を行っている	103 (9.0%)	405 (35.2%)	310 (27.0%)	245 (21.3%)	86 (7.5%)
⑦	地域には、悩みがあるときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり助けを求めたりすることを恥ず	70 (6.1%)	419 (36.5%)	284 (24.8%)	83 (7.2%)	291 (25.4%)
⑥	地域では、認知症の人が地域の人々から大切にされ、地域の一員である	70 (6.1%)	354 (30.9%)	307 (26.8%)	125 (10.9%)	289 (25.2%)
③	地域の交通機関は、徒歩が困難な方や目・耳の不自由な方でも利用に障がない	97 (8.5%)	284 (24.8%)	366 (32.0%)	313 (27.4%)	83 (7.3%)
①	地域にある通りや建物は、安全やわかりやすさに配慮している（例）車いす・杖・歩行器などを利用して	79 (7.0%)	250 (22.2%)	440 (39.1%)	296 (26.3%)	61 (5.4%)
⑧	認知症の人が、ボランティア活動などの地域に貢献できる役割を担う機会がある	30 (2.6%)	146 (12.7%)	331 (28.8%)	354 (30.8%)	288 (25.1%)



※%は有効回答件数中の割合(%)

問11 認知症の人への支援としてどのようなものが必要だと思われますか？

		1	2	3	4	5
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	分からない
⑦	適切な医療や介護サービスの利用支援	596 (53.4%)	401 (35.9%)	56 (5.0%)	14 (1.3%)	49 (4.4%)
⑪	認知症の人に対応した災害時支援	500 (44.8%)	400 (35.8%)	106 (9.5%)	24 (2.2%)	86 (7.7%)
⑤	認知症の人の徘徊の発見や対応	471 (42.0%)	416 (37.1%)	116 (10.3%)	39 (3.5%)	80 (7.1%)
⑥	認知症の人の家族の相談や社会交流の場づくり	454 (41.1%)	403 (36.5%)	123 (11.1%)	45 (4.1%)	80 (7.2%)
①	認知症や認知症の人との関わり方等の啓発活動	461 (41.7%)	389 (35.2%)	145 (13.1%)	33 (3.0%)	77 (7.0%)
⑫	悪質商法被害防止の取り組み	484 (43.9%)	328 (29.7%)	136 (12.3%)	39 (3.5%)	116 (10.5%)
②	近隣住民の日常的関わりをさらに強めることによる、認知症の人の変化への気づき	330 (29.8%)	474 (42.8%)	151 (13.6%)	45 (4.1%)	108 (9.7%)
⑨	認知症の人が被害を受ける犯罪（虐待など）の防止や早期発見	454 (40.8%)	327 (29.4%)	145 (13.0%)	33 (3.0%)	155 (13.9%)
⑧	早期に介護施設に入所できるような支援	212 (19.3%)	461 (42.0%)	200 (18.2%)	59 (5.4%)	166 (15.1%)
③	認知症の人に対する生活支援（買い物や移動など）	212 (19.2%)	421 (38.2%)	238 (21.6%)	82 (7.4%)	150 (13.6%)
⑩	認知症の人による犯罪（万引きなど）の防止や早期発見	286 (26.1%)	308 (28.1%)	215 (19.6%)	51 (4.6%)	237 (21.6%)
④	認知症の人の社会参加支援	168 (15.4%)	394 (36.2%)	259 (23.8%)	96 (8.8%)	172 (15.8%)



※%は有効回答件数中の割合(%)

## 認知症の人にやさしい地域作りに関するアンケート集計結果

## (都市部と中山間地・離島部民生委員対象調査結果比較)

それぞれの回答において都市部、中山間地・離島部で当てはまる回答の割合およびその差分を示した。

## 問1-1 年齢

	都市部	中山間地・離島部	差分
30代以下	0	0	0
40代	2	0	2
50代	10	4	6
60代	34	41	-8
70代	53	53	0
80代	0	1	-1
90代以上	0	0	0
未回答	1	1	0

## 問1-4 民生委員として担当している世帯数

	都市部	中山間地・離島部	差分
1-100世帯	13	63	-50
101-200世帯	17	16	0
201-300世帯	24	4	20
301-400世帯	14	1	13
401-500世帯	8	0	7
501世帯以上	3	0	3
わからない	13	4	9
未回答	6	9	-3
数値以外	3	2	1

## 問1-6 1ヵ月あたりの活動日数

	都市部	中山間地・離島部	差分
1-5日	8	9	-2
6-10日	25	27	-2
11-15日	28	25	3
16-20日	17	16	2
21-25日	5	5	0
26日以上	1	2	-1
未回答	4	5	-1
数値以外	12	11	1

問5 認知機能の低下が疑われる人や認知症の人がお住まいの世帯に関し、民生委員として関わるケースについて

1) 本人、家族や地域住民からどのような相談をうけることが多いですか？

①本人からの相談（複数回答可能）

	都市部	中山間地・離島部	差分
病気のこと	27	26	2
生活のこと	35	42	-7
介護保険利用	18	18	-1
金銭管理や後見人申し立てのこと	7	10	-3
運転免許返納のこと	5	17	-11
その他	5	6	-1

②家族や地域住民からの相談（複数回答可能）

	都市部	中山間地・離島部	差分
診断はついていないが認知症が疑われること	38	40	-2
認知症の人の病気（認知症）のこと	20	21	-1
認知症の人の介護のこと	23	24	-1
認知症の人と周囲の関係（近隣トラブルなど）	34	37	-3
家族自身の介護負担のこと	17	18	-2
介護保険利用	14	20	-6
金銭管理や後見人申し立てのこと	6	9	-3
運転免許返納のこと	5	17	-11
その他	3	3	0

2) 民生委員として行う支援にはどのようなものがありますか？（複数回答可能）

	都市部	中山間地・離島部	差分
話し相手	72	73	-1
見守り・安否確認	93	93	-1
食材配達・配食の手伝い	7	12	-5
服薬確認	3	6	-3
地域交流活動（サロンなど）の支援	56	49	7
緊急通報システム等への協力	24	38	-14
介護保険や日常生活自立支援事業などの情報提供	29	34	-5
認知症の人や家族と関係機関（市や包括支援センター）の連絡の手助け	57	51	6
社会福祉協議会の事業やボランティア活動利用の調整	20	22	-2
生活支援（買い物支援、ゴミ出し、草取り、清掃など）	21	21	0
外出支援	6	8	-2
交流会や食事会	15	13	2
通院の付き添い	8	10	-2
悪質商法被害防止の取り組み	20	19	1
災害時支援（例：避難支援、安否確認、避難後の生活支	35	52	-16
その他	2	2	0

問 6 認知機能の低下が疑われる人や認知症の人がお住まいの世帯ではどのような福祉課題がみられていますか（複数回答可能）

	都市部	中山間地・離島部	差分
ゴミ屋敷	19	20	-1
近隣トラブル	35	34	2
孤独・孤立	38	42	-4
徘徊	34	25	9
8050問題（認知症の親の子が引きこもっている）	6	7	-1
家族の不仲	15	15	-1
必要な医療を受けていない	12	13	-2
必要な介護・生活支援を受けていない	20	21	0
経済的困窮	8	12	-4
外出困難	14	22	-8
家族が遠方	37	50	-12
その他	3	5	-1

問 7 認知症の人のみの世帯（認知症独居世帯、夫婦ともに認知症である世帯など）が、その世帯だけでは日常生活を維持することが難しくなったケースに携わったことはありますか？

	都市部	中山間地・離島部	差分
携わったことがある	36	38	-2
携わったことはない	61	57	4
未回答	3	5	-2

問 7.1 「問 7 1.携わったことがある」の場合、どのように対応しましたか？（複数回答可能）

	都市部	中山間地・離島部	差分
親族に連絡した	21	28	-6
緊急連絡先の確認	14	16	-2
地域包括支援センター・行政に情報提供した	29	30	-1
かかりつけ医に連絡した	3	4	-1
本人に了承を得たうえで、近隣住民に見守りや生活支援を依頼した	10	12	-1
頻回に見守りを行った	17	22	-5
積極的に生活支援を行った	3	4	-1
介護施設入所を勧めた	6	10	-4
その他	2	3	-1

問 8 地域住民が認知症を発症した場合、どのように過ごすのが適切であるとお考えですか？（複数回答可能）

	都市部	中山間地・離島部	差分
認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で今までどおり自立的に生活する	31	29	2
認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する	76	69	7
認知症になっても、地域活動に役割をもって参加する	26	23	2
認知症になったら、記憶力が低下し判断することができないので、日々の生活は家族など周りの人に決めてもらう	30	32	-2
認知症になったら、協力を得るために近所人や知人などにも知らせておく	64	66	-2
認知症になると、身の回りのことができなくなり、生活が困難になったり安全が確保できなくなったりするので、なるべく早めに介護施設に入る	18	21	-4
認知症になると、身の回りのことができなくなり、周りの人の負担になってしまうのでなるべく早めに介護施設に入る	10	12	-2
認知症になると、暴言、暴力、徘徊、つきまといなどの問題行動により周りの人に迷惑をかけてしまうので、なるべく早めに介護施設に入る	10	11	-1

問 9 周囲の地域住民の方は認知症に対してどのようなイメージを持っている方が多いでしょうか？

	都市部	中山間地・離島部	差分
認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で今までどおり自立的に生活する	2	2	0
認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する	17	18	-1
認知症になっても、地域活動に役割をもって参加する	1	0	0
認知症になったら、記憶力が低下し判断することができないので、日々の生活は家族など周りの人に決めてもらう	11	9	2
認知症になったら、協力を得るために近所人や知人などにも知らせておく	9	9	-1
認知症になると、身の回りのことができなくなり、生活が困難になったり安全が確保できなくなったりするので、なるべく早めに介護施設に入る	13	13	-1
認知症になると、身の回りのことができなくなり、周りの人の負担になってしまうのでなるべく早めに介護施設に入る	5	5	0
認知症になると、暴言、暴力、徘徊、つきまといなどの問題行動により周りの人に迷惑をかけてしまうので、なるべく早めに介護施設に入る	4	3	1
未回答	7	7	0
無効回答	32	33	-1

問 10 お住まいの地域は、認知症の人にとってどのような地域だと思われますか？

	都市部	中山間地・離島部	差分
地域にある通りや建物は、安全やわかりやすさに配慮している（例）車いす・杖・歩行器などを利用していても歩行に支障がない、標識がわかりやすい など	29	17	12
地域には、徒歩圏内に電車やバス等の公共交通機関、地域乗り合いタクシーを利用できる場所がある	72	46	26
地域の交通機関は、徒歩が困難な方や目・耳の不自由な方でも利用に支障がない	33	14	20
地域では、住まいの近くに日々の生活や医療・介護などに関わるサービスや施設がある	81	65	16
地域では、認知症の人が地域の人たちと交流したり、地域の集まりに参加したりしている（認知症カフェやサロンを含める）	50	49	1
地域では、認知症の人が地域の人々から大切にされ、地域の一員である	37	50	-13
地域には、悩みがあるときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり助けを求めたりすることを恥ずかしいと感じる雰囲気がある	43	67	-24
認知症の人が、ボランティア活動などの地域に貢献できる役割を担う機会がある	15	12	4
地域では、行政や民間のサービスによって日常生活や健康のために必要な情報が提供されている	71	71	0
地域では、災害や緊急時のための情報集約（避難時の要援護者など）や訓練を行っている	44	45	0
地域では、医療・介護の制度やサービス、その他の地域サービスに関する相談窓口が分かりやすいように設けてある	63	61	2
地域では、見守りや手助けが必要な人に対し、近隣住民が支援している	63	69	-6

問 11 認知症の人への支援としてどのようなものが必要だと思われますか？

	都市部	中山間地・離島部	差分
認知症や認知症の人との関わり方等の啓発活動	77	80	-3
近隣住民の日常的関わりをさらに強めることによる、認知症の人の変化への気づき	73	78	-6
認知症の人に対する生活支援（買い物や移動など）	57	70	-13
認知症の人の社会参加支援	52	59	-7
認知症の人の徘徊の発見や対応	79	79	0
認知症の人の家族の相談や社会交流の場づくり	78	81	-4
適切な医療や介護サービスの利用支援	89	92	-2
早期に介護施設に入所できるような支援	61	68	-7
認知症の人が被害を受ける犯罪（虐待など）の防止や早期発見	70	72	-1
認知症の人による犯罪（万引きなど）の防止や早期発見	54	56	-2
認知症の人に対応した災害時支援	81	86	-5
悪質商法被害防止の取り組み	74	79	-6

## 介護支援専門員対象認知症対応の質の向上を目指した研修

### 研修アンケート 集計結果

※「割合(%)」は小数点第二位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります

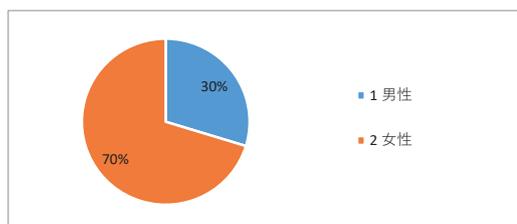
#### ◆回収状況

回収件数	37	回収率100%
------	----	---------

#### 1. 属性について

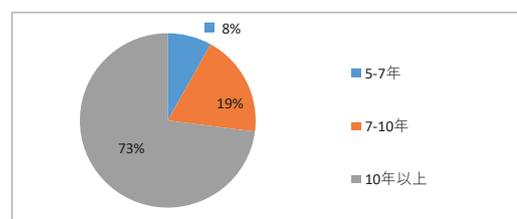
##### 問1 性別

	件数	割合(%)
1 男性	11	29.7
2 女性	26	70.3
計	37	100.0



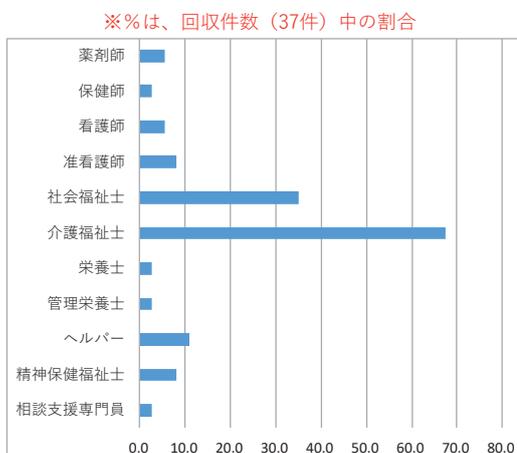
##### 問2 介護支援専門員としての経験年数（通算）

	件数	割合(%)
1 5-7年	3	8.1
2 7-10年	7	18.9
3 10年以上	27	73.0
計	37	100.0



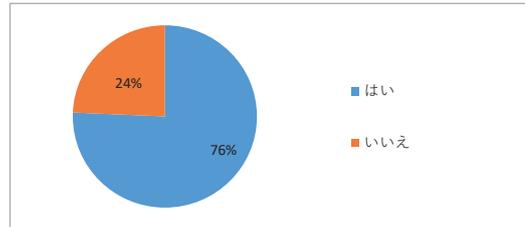
##### 問3 介護支援専門員以外で、現在お持ちの基礎資格（複数回答可能）

	件数	割合(%)
1 薬剤師	2	5.4
2 保健師	1	2.7
3 看護師	2	5.4
4 准看護師	3	8.1
5 社会福祉士	13	35.1
6 介護福祉士	25	67.6
7 栄養士	1	2.7
8 管理栄養士	1	2.7
9 ヘルパー	4	10.8
10 精神保健福祉士	3	8.1
11 相談支援専門員	1	2.7



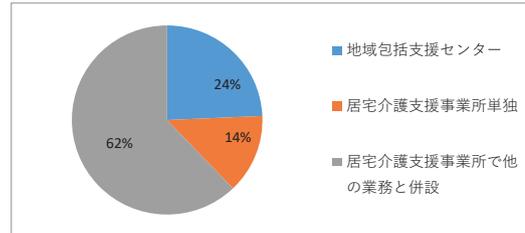
問4 事業所の管理者ですか。

		件数	割合(%)
1	はい	28	75.7
2	いいえ	9	24.3
	計	37	100.0



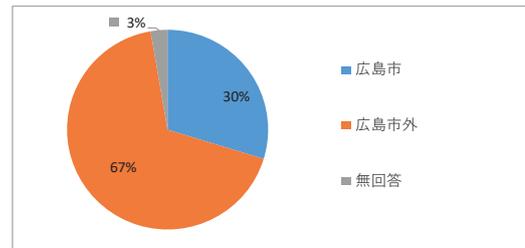
問5 所属先の業務形態について

		件数	割合(%)
1	地域包括支援センター	9	24.3
2	居宅介護支援事業所単独	5	13.5
3	居宅介護支援事業所で他の業務と併設	23	62.2
	計	37	100.0



問6 貴事業所の所在地

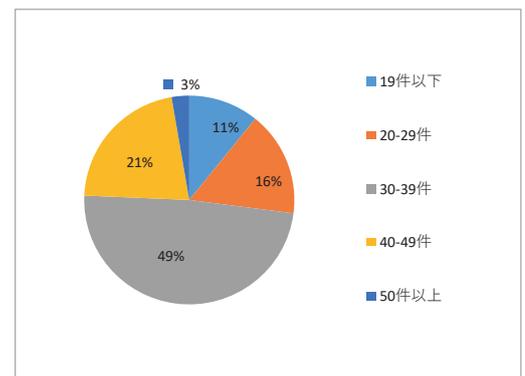
		件数	割合(%)
1	広島市	11	29.7
2	広島市外	25	67.6
0	無回答	1	2.7
	計	37	100.0



2. ケアマネジメントについて

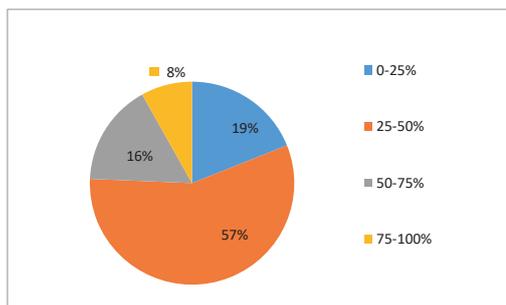
問7 現在のケアプラン担当件数（予防プラン含む）

		件数	割合(%)
3	19件以下	4	10.8
4	20-29件	6	16.2
5	30-39件	18	48.6
6	40-49件	8	21.6
7	50件以上	1	2.7
	計	37	100.0



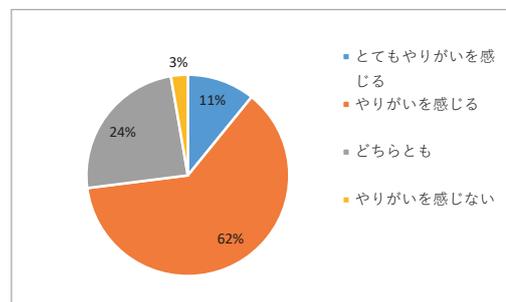
問8 問7で回答した担当件数のうち、認知症自立度Ⅱa以上の方の割合

		件数	割合(%)
1	0-25%	7	18.9
2	25-50%	21	56.8
3	50-75%	6	16.2
4	75-100%	3	8.1
	計	37	100.0



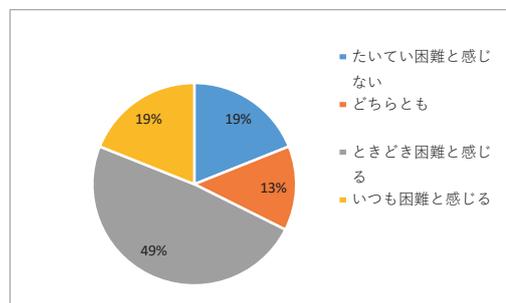
問9 ケアマネジメント業務に対し、感じておられるやりがいの程度

		件数	割合(%)
1	とてもやりがいを感じる	4	10.8
2	やりがいを感じる	23	62.2
3	どちらとも	9	24.3
4	やりがいを感じない	1	2.7
	計	37	100.0



問10 認知症をもつ利用者のケアマネジメントを困難と感じる頻度

		件数	割合(%)
1	たいてい困難と感じない	7	18.9
2	どちらとも	5	13.5
3	ときどき困難と感じる	18	48.6
4	いつも困難と感じる	7	18.9
	計	37	100.0



問 11 認知症をもつ利用者のケアマネジメントの際、本人や家族を含めた環境の捉え方や対応などについて課題だと感じていること

回答を類似性でまとめ、それぞれ代表的な回答を記載した。

【本人の認知症の受け入れや認知症に対する理解】6件

- ・現状を受容し難い（ご本人、ご家族）
- ・認知症についての理解

【家族の認知症の受け入れや認知症に対する理解】19件

- ・家族が認知症だと認識していないケースが多く、伝え方に苦慮する事が多い
- ・家族の認知症への理解や対応について感情が入るので冷静に受け入れができない
- ・家族が認知症について十分に理解ができず徘徊等の危険予測に考えが及ばず楽観的な場合が多い
- ・地域への協力依頼を家族が望まない場合チームが編成し難い
- ・家族の認知症に対する認識が、支援者側と相違ある
- ・本人への家族のかかわり方

【本人の意向の尊重】6件

- ・ご本人の望むことと介護者の望むことの不一致
- ・本人ニーズと家族ニーズの考え方、双方の ACP
- ・本人の意向確認ができず、家族主体でサービスが調整されてしまう
- ・本人やその家族で、認知症に対する対応方法や考え方や治療についての考え方が異なり、間に立つことが多く困難と感ずることがある

【地域の認知症に対する理解】4件

- ・地域の認知症への理解
- ・認知症を持つ利用者を迷惑と思っておられる地域への理解
- ・本人や家族を取り巻く地域住民の理解のある無しで、在宅生活サポートの進めやすさが大きく変わってくると感じている

【その他】6件

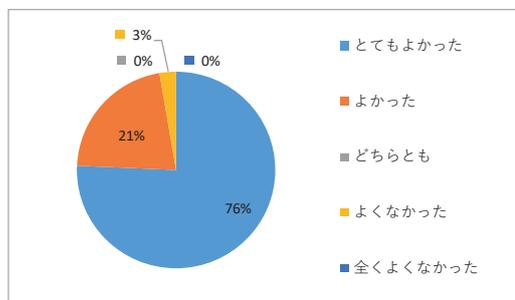
- ・専門職へつなぐ場合のかかりつけ医の認識のズレ
- ・相談があった時は、ご家族であったり、地域での困りごとが先に入り、目の前のことの困りごとに対して解決を求められるため、ご本人へのアプローチが遅れないよう同時にアプローチすることの難しさがある
- ・認知症という疾患の多様性が、対応を難しいものと感じさせているのではないかと思う。対応が先で、本人の思いが後から・・・みたいなどころが出てきてしまって難しいなと思う
- ・認知症の進行により徘徊、不穏行動が目立つようになった際、家族の介護負担も増大となり、本人の安全確保の観点からも、サービスを追加すると、だんだんと自宅と施設の区別もつきにくくなり、認知症が進行してしまうような気がしており、課題だと感じている。

## 【研修後】

### 3. 研修について

#### 問12 研修全体の感想

	件数	割合(%)
1 とてもよかった	28	75.7
2 よかった	8	21.6
3 どちらとも	0	0.0
4 よくなかった	1	2.7
5 全くよくなかった	0	0.0
計	37	100.0



#### 問13 問12の回答理由

選択肢それぞれにおいて代表的な回答を記載した。

##### 【とてもよかった】

- ・ただ認知症を理解するにとどまらず、ケアマネとして、ご本人、ご家族、地域など幅広い対応について具体的に講義に盛り込まれていて日常の対応を整理することができた
- ・石井先生、大西 NS、お二人の講義の内容が素晴らしかった。グループワークも充実していた
- ・グループワークでの意見交換が充実していて、時間が足りないくらいだった
- ・認知症の症状については具体的で分かりやすい内容だった。医療や生活支援のことなど今までの研修ではあまり聞かない内容が聞けたのでよかった。グループワークで実際に事例をもとに考えることで必要な視点や自分が見落としがちな視点に気づくことができた

##### 【よかった】

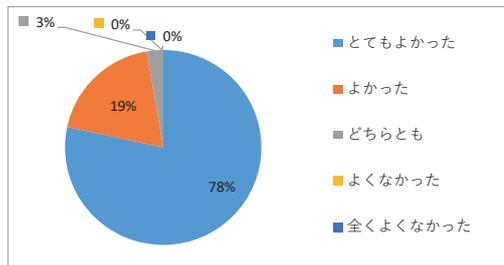
- ・講義・グループ枠の内容は良かったが、グループワークの時間がもう少しあればよかった
- ・疾患や薬内容を踏まえ、家族関係や本人の性格まで幅広く情報収集したうえで、対応策を検討していかなければならないことを再確認できた
- ・日々認知症の方に関わるなかでの難しさを共有でき、今後の支援に活かしていきたいと感じた

##### 【よくなかった】 ⇐他回答においてすべて「よかった」と回答。

- ・GWによる自分にはない視点もあり勉強になった

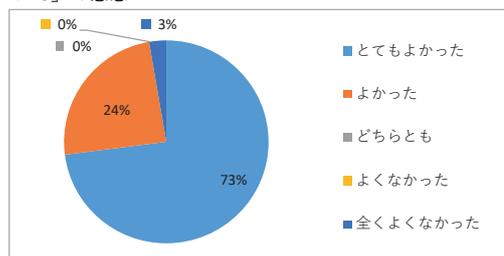
問14 講演1「認知症の症状を理解する」の感想

	件数	割合(%)
1 とてもよかった	29	78.4
2 よかった	7	18.9
3 どちらとも	1	2.7
4 よくなかった	0	0.0
5 全くよくなかった	0	0.0
計	37	100.0



問15 講演2「生活習慣病・慢性疾患をもつ認知症の人への医療・生活支援について」の感想

	件数	割合(%)
1 とてもよかった	27	73.0
2 よかった	9	24.3
3 どちらとも	0	0.0
4 よくなかった	0	0.0
5 全くよくなかった	1	2.7
計	37	100.0



問16 問14, 15の回答理由

選択肢それぞれにおいて代表的な回答を記載した。

【とてもよかった】

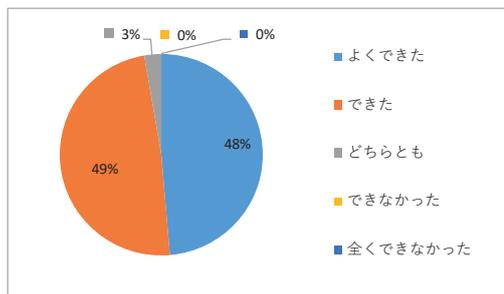
- ・ 講義の内容が具体的でアプリーチの行い方 考え方の整理ができた
- ・ 認知症症状の多様な要因と多職種連携の必要性について理解できた
- ・ 認知症の理解を深めることができたことと適切なケアマネジメント手法について活用しようと思った
- ・ 生活習慣で本人の認知症が進行することが理解できた

【よかった】

- ・ 認知症の症状の出現がどのようにして起こっているのか、症状が出ることで起こりうる問題点について考えていくことが必要と思った
- ・ 認知症も含めた健康管理に必要な視点を学ぶことができた
- ・ 医学、薬学の視点から、認知症に対するアセスメントのポイントを理解できたと感じた

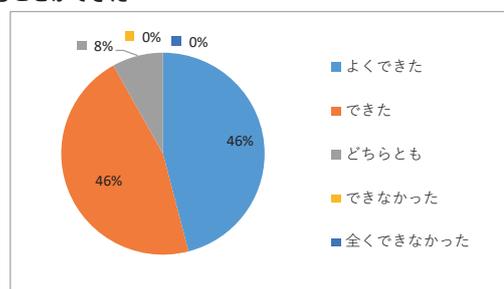
問17 グループワーク：認知症の症状に関わる多様な要因について考えることができた

		件数	割合(%)
1	よくできた	18	48.6
2	できた	18	48.6
3	どちらとも	1	2.7
4	できなかった	0	0.0
5	全くできなかった	0	0.0
	計	37	100.0



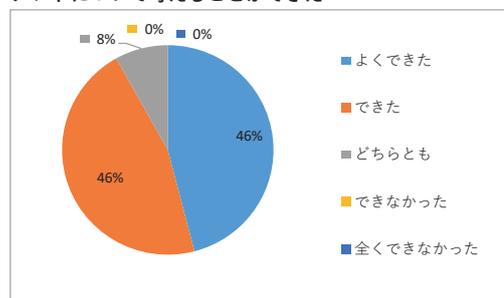
問18 グループワーク：認知症機能障害が身体疾患に与える影響について考えることができた

		件数	割合(%)
1	よくできた	17	45.9
2	できた	17	45.9
3	どちらとも	3	8.1
4	できなかった	0	0.0
5	全くできなかった	0	0.0
	計	18	100.0



問19 グループワーク：認知症の人の立場に立って考えた、個別的なケアマネジメントについて考えることができた

		件数	割合(%)
1	よくできた	17	45.9
2	できた	17	45.9
3	どちらとも	3	8.1
4	できなかった	0	0.0
5	全くできなかった	0	0.0
	計	37	100.0



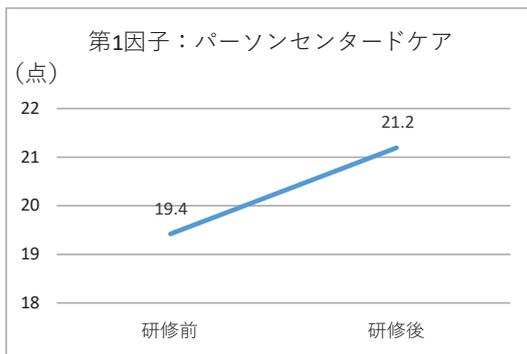
問20 今後、参加したいセミナーのテーマや今後に向けての要望

- ・今回の研修がとても分かりやすく良かったので定期的にシリーズ化して欲しい
- ・精神疾患のある利用者や家族の支援
- ・家族支援
- ・パーソン・センタード・ケア
- ・「適切なケアマネジメント手法」の活用
- ・生保など社会保障制度や、税金面など、高齢者の生活に必要な社会制度
- ・認知症の方を囲む、周辺の方々も含んでの支援ケース
- ・高齢者虐待
- ・地域活動へ繋げていくための地域の理解 地域力を高めための働きかけ
- ・居宅介護支援事業所の BCP

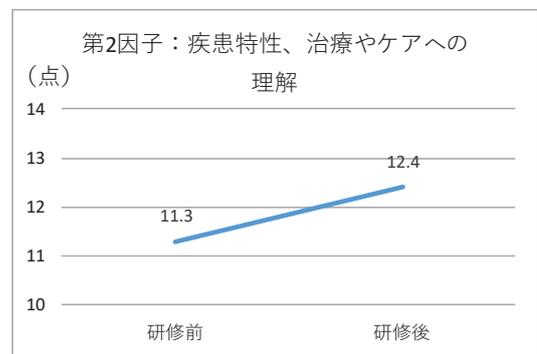
【研修前後】		
認知症の人に対するケアマネジメント実践自己評価尺度点数の変化		
選択肢の配点 4:あてはまる 3:どちらかといえばあてはまる 2:どちらかといえばあてはまらない 1:あてはまらない		
項目	平均値±標準偏差(点)	
	研修前	研修後
<b>第1因子：パーソンセンタードケア(6項目)</b>	19.4 ± 2.7	21.2 ± 2.5
① 認知障害に関する行動には、まず本人の視点でその行動の理由を理解しようとする	3.1 ± 0.5	3.5 ± 0.5
② 「なにもできない」とあきらめず、本人の視点で「なにかができる」と感じられるように支援することを心掛けている	3.4 ± 0.5	3.5 ± 0.5
③ 個人の独自性を尊重し、認知機能と本人に合わせて支援することを心掛けている	3.2 ± 0.6	3.5 ± 0.6
④ 認知症症状の軽重にかかわらず、本人の意思や価値を尊重して支援することを心掛けている	3.3 ± 0.6	3.6 ± 0.5
⑤ 本人の独自のニーズや不安を受け止めようとしている	3.4 ± 0.5	3.6 ± 0.5
⑥ 転倒のリスクなど起こり得る問題を予測した上で、常に本人にとって何が優先されるのか検討している	3.1 ± 0.7	3.5 ± 0.5
<b>第2因子：疾患特性、治療やケアへの理解(4項目)</b>	11.3 ± 1.9	12.4 ± 1.9
⑦ 認知症の中核症状および必要なケアについて理解している	2.9 ± 0.6	3.2 ± 0.5
⑧ 認知症の行動・心理症状および必要なケアについて理解している	2.8 ± 0.5	3.2 ± 0.5
⑨ 認知症の各進行段階における症状および必要なケアについて理解している	2.8 ± 0.6	3.1 ± 0.6
⑩ 認知症を起こす個々の疾患について概念や特徴、治療について理解している	2.7 ± 0.5	3.0 ± 0.6
<b>第3因子：認知症の人への理解と特性に応じたケアマネジメント(5項目)</b>	15.4 ± 2.1	16.8 ± 2.3
⑪ 認知症の人や家族に生じる様々な身体的、心理的・社会的ニーズについて理解している	3.0 ± 0.5	3.4 ± 0.5
⑬ 本人・家族等の意思、認知症の人の心身の状況や家族に介護状況などを把握できる	3.1 ± 0.5	3.3 ± 0.5
⑭ 把握した情報から、認知症の人にとって必要なケアとその優先順位を検討できる	3.1 ± 0.6	3.4 ± 0.6

⑮ 介護支援専門員として、認知症の人や家族・支援者が抱く感情や思いによりそう事が出来る	3.3 ± 0.6	3.4 ± 0.5
⑰ 本人、家族、関係者とともに話し合い、必要に応じて意思決定支援を行い、本人が望む暮らしに沿ったケアプランを提案できる	2.8 ± 0.7	3.3 ± 0.5
<b>第4因子：認知症の人を取り巻く地域 資源の活用 (3項目)</b>	<b>8.6 ± 1.7</b>	<b>9.1 ± 1.7</b>
⑫ 成年後見制度や運転免許返納等認知症に関わる制度について理解している	3.0 ± 0.7	3.1 ± 0.8
⑯ 近隣住民や関係機関等と連携する体制を構築し、必要に応じて情報を共有できる	2.8 ± 0.7	3.0 ± 0.6
⑱ 必要に応じて介護保険制度以外の医療社会福祉サービス（自立支援医療、障害年金、傷病手当等）、インフォーマルサービスの利用を提案できる	2.8 ± 0.7	3.0 ± 0.7

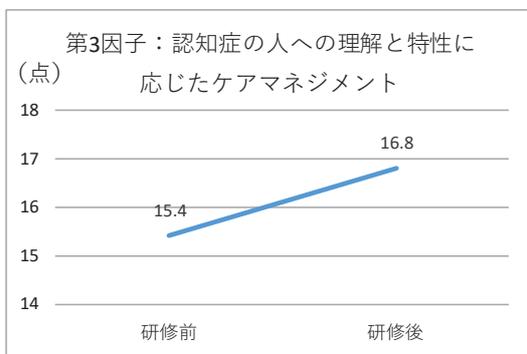
認知症の人に対するケアマネジメント実践自己評価尺度 4因子の平均点の変化



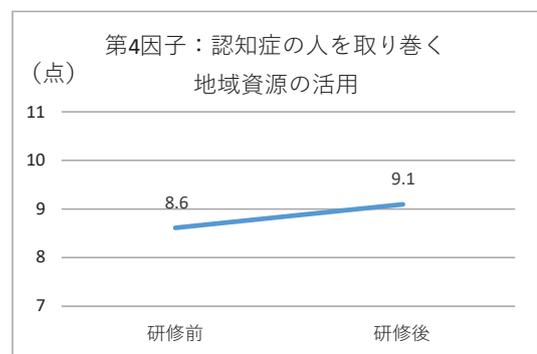
得点範囲：6～24点



得点範囲：4～16点



得点範囲：5～20点



得点範囲：3～12点

広島県地域保健対策協議会 認知症対策専門委員会

委員長	石井 伸弥	広島大学大学院医系科学研究科共生社会医学講座
委員	天野 純子	広島県医師会
	井手下久登	いでした内科・神経内科クリニック
	井門ゆかり	井門ゆかり脳神経内科クリニック
	岩崎 和浩	広島県地域包括ケア推進センター
	大盛 航	広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学
	落久保裕之	広島県医師会
	小山田孝裕	三原病院（広島県東部認知症疾患医療センター）
	加澤 佳奈	広島大学大学院医系科学研究科共生社会医学講座
	小林 真紀	広島市健康福祉局高齢福祉部介護保険課
	高村 省三	広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課
	西丸 幸治	広島県健康福祉局疾病対策課
	畑 和彦	認知症の人と家族の会広島県支部
	増廣 典子	広島県健康福祉局地域共生社会推進課
	松本 正俊	広島大学医学部地域医療システム学
	望月マリ子	広島県介護支援専門員協会
	元廣 緑	広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会
	吉益 伸幸	広島弁護士会